JAMA/JAPIA 統一データシート
Version 3.01
簡易入力マニュアル

2019 年 6 月 1 日

一般社団法人　日本自動車工業会（JAMA）
環境委員会　製品化学物質管理部会
一般社団法人　日本自動車部品工業会（JAPIA）
環境対応委員会　製品環境部会

Version	年月日	事由
2.00	2006 年 4 月 1 日	新規発行(データシート Version2.00)
2.01	2006 年 10 月 1 日	データシート改正(Version2.01)による変更 （Version 表記も変更）
2.02	2007 年 7 月 1 日	データシート改正(Version2.02)による変更
2.04	2008 年 11 月 1 日	データシート改正(Version2.04)による変更
2.05	2009 年 6 月 1 日	データシート改正(Version2.05)による変更
2.10	2009 年 10 月 1 日	データシート改正(Version2.10)による変更
2.11	2010 年 6 月 1 日	データシート改正(Version2.11)による変更
2.11	2010 年 7 月 14 日	JAMA シートを扱えるパソコンの修正（P.3）
2.12	2010 年 10 月 1 日	データシート改正(Version2.12)による変更
2.13	2011 年 6 月 1 日	データシート改正(Version2.13)による変更
2.14	2011 年 10 月 1 日	データシート改正(Version2.14)による変更
2.15	―	※簡易入力マニュアルの改正なし
2.16	2012 年 6 月 1 日	データシート改正(Version2.16)による変更
2.17	2012 年 10 月 1 日	データシート改正(Version2.17)による変更
2.18	2013 年 6 月 1 日	データシート改正(Version2.18)による変更
2.20	2013 年 10 月 1 日	データシート改正(Version2.20)による変更
2.21	―	※簡易入力マニュアルの改正なし
2.30	2014 年 10 月 1 日	データシート改正(Version2.30)による変更
2.31	2015 年 6 月 1 日	データシート改正(Version2.31)による変更
2.32	2015 年 11 月 1 日	データシート改正(Version2.32)による変更
2.33	2016 年 6 月 1 日	データシート改正(Version2.33)による変更
2.40	2016 年 11 月 1 日	データシート改正(Version2.40)による変更
2.41	2017 年 6 月 1 日	データシート改正(Version2.41)による変更
2.50	2017 年 10 月 1 日	データシート改正(Version2.50)による変更
2.51	2018 年 6 月 1 日	データシート改正(Version2.51)による変更
3.00	2018 年 10 月 1 日	データシート改正(Version3.00)による変更
3.01	2019 年 6 月 1 日	データシート改正(Version3.01)による変更

参考：今回の改正内容を説明した資料「JAMA/JAPIA 統一データシート改正内容のまとめ（Ver3.01）」を公開しています。

一般社団法人 日本自動車部品工業会（JAPIA）公式サイト

http://www.japia.or.jp ⇒「JAMA/JAPIA 統一データシート」を選択

本ページ以降、一部、JAMA/JAPIA 統一データシートを JAMA シートと略称します。

１．目的

本マニュアルは JAMA シートの入力を支援するため、入力方法を具体的・平易に解説するものです。詳細な仕様・定義は、「操作手順書」を参照してください。

参考：「操作手順書」の入手先
一般社団法人 日本自動車部品工業会（JAPIA）公式サイト
http://www.japia.or.jp ⇒「JAMA/JAPIA 統一データシート」を選択

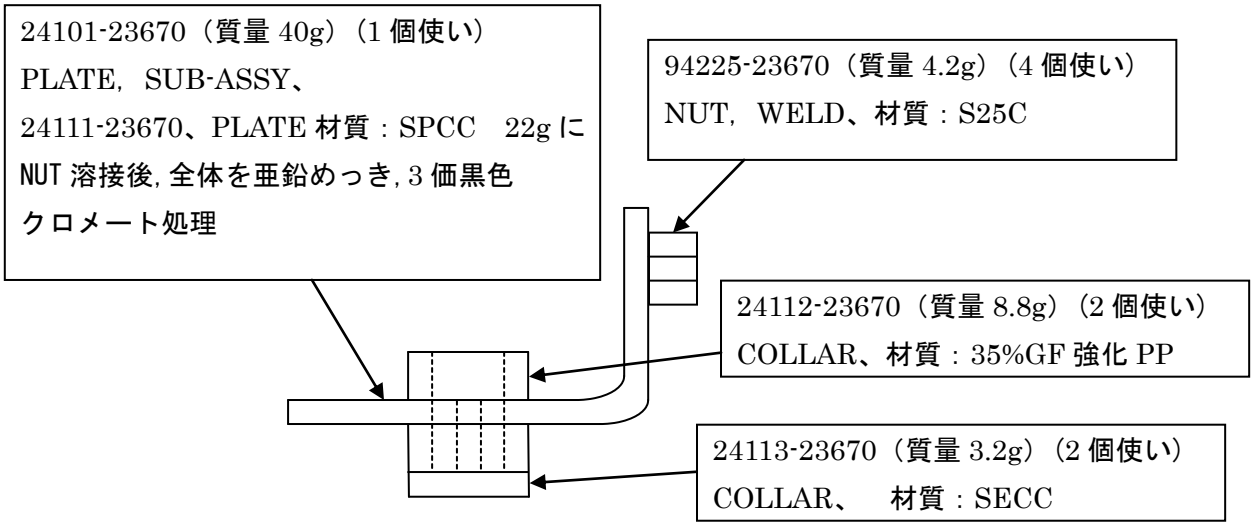
２．JAMA シートについて

JAMA シートとは、国内外の環境規制に対応すべく、自動車部品の材料・含有物質の情報を収集するための標準調査帳票です。JAMA シートは「記入帳票」と「外部リスト」から構成されており、適時見直しされるため、最新の JAMA シートを以下の公式サイト、または調査依頼元から入手してください。

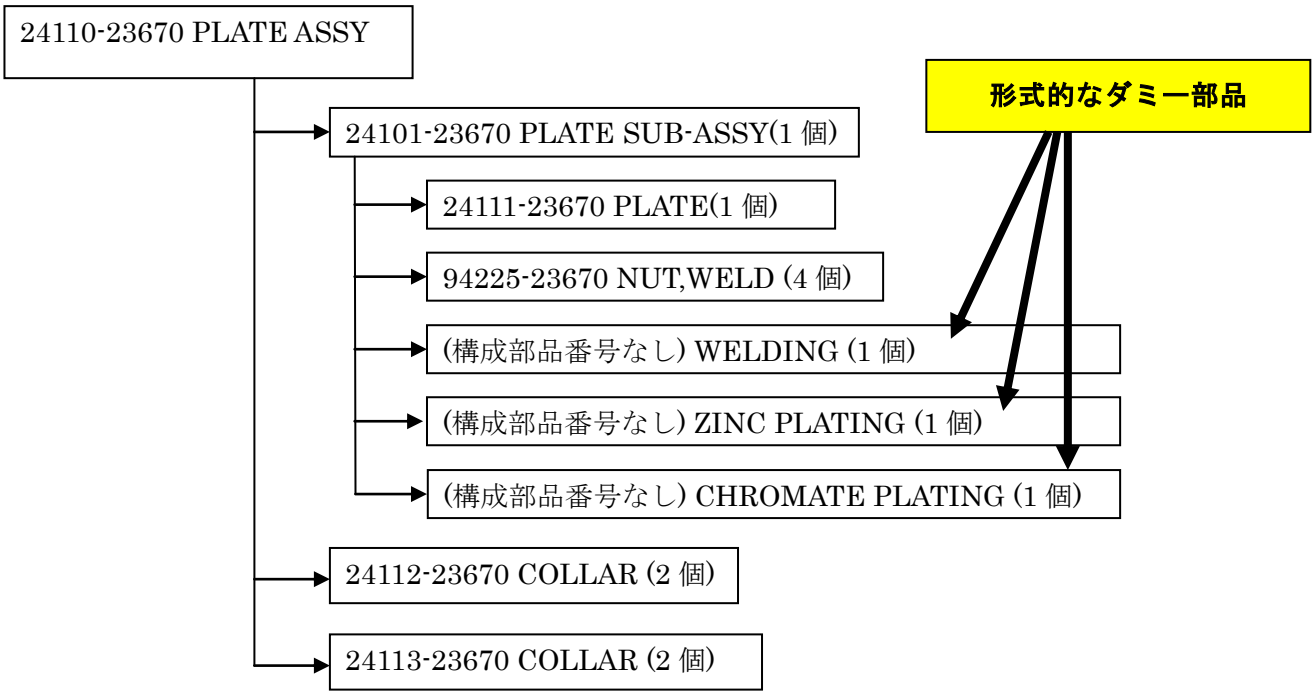
参考：「記入帳票」と「外部リスト」の入手先
一般社団法人 日本自動車部品工業会（JAPIA）公式サイト
http://www.japia.or.jp ⇒「JAMA/JAPIA 統一データシート」を選択
最新版の記入帳票は「jamasheet_jp20190601.xls」、
外部リストは、「EXLIST-2019-06-01JP.xlsx」です。

３．入力モデル

本マニュアルで入力方法を解説する部品モデル（部品表）を以下に示します。



部品モデル：24110-23670　PLATE ASSY(質量 64g)



部品モデル：24110-23670 の部品表構成

納入部品				
番号	名称	質量	数量	備考
24110-23670	PLATE ASSY	64 g	1	

構成部品				
番号	名称	質量	数量	備考
24101-23670	PLATE SUB-ASSY	40 g	1	
24111-23670	PLATE	22 g	1	
94225-23670	NUT,WELD	4.2 g	4	
（なし）	WELDING	1.0 g	1	形式的なダミー部品
（なし）	ZINC PLATING	0.18 g	1	形式的なダミー部品
（なし）	CHROMATE PLATING	0.02 g	1	形式的なダミー部品
24112-23670	COLLAR	8.8 g	2	
24113-23670	COLLAR	3.2 g	2	

部品モデル：24110-23670 の部品表

本モデルは金属材料（めっき品）と樹脂材料の入力方法を解説するモデルであり、他の入力事例は次の公式サイトより入手できます。

参考：「入力事例」の入手先

一般社団法人 日本自動車部品工業会（JAPIA）公式サイト

http://www.japia.or.jp ⇒「JAMA/JAPIA 統一データシート」を選択

重要！

注意！

・JAMA シートのシステム要件

システム要件は Windows（OS）と Excel（ソフトウェア）に依存します。

【参考】（マイクロソフトのサイト情報より）

Windows 7（32bit 版）のシステム要件

・CPU　　1GHz 以上の 32 ビット(x86)プロセッサ

・メモリ　　1GB RAM 以上

・HDD 容量 16GB 以上の空き容量

Excel 2013（32bit 版）のシステム要件

・CPU　　1GHz 以上

・メモリ　　1GB RAM 以上

・HDD 容量 3GB 以上の空き容量

・JAMA シートの動作環境

今回の JAMA シートのバージョンでは、次のソフトウェア動作環境にて開発、評価を行っております。

なお、IMDS との整合化により内部データの行数が大幅に増加したため、外部リストの拡張子を、Ver.2.30 より「.xls」から「.xlsx」に変更しています。

●Windows 7 SP1 (32bit 版)　＋ Excel 2013 (32bit 版)

●Windows 10 (64bit 版)　＋ Excel 2016 (64bit 版)

Windows、Excel 共に、マイクロソフトがサポートを終了しているバージョンは JAMA シートにおいてもサポート対象外です。

・マクロ機能の利用について

JAMA シートは Excel のマクロ機能を利用していますので、適切なマクロ機能の設定が必要です。設定方法は巻末の ＜補足２＞ をご覧ください。

・この簡易入力マニュアルでは、OS および Excel の機能に依存する操作について、次のソフトウェア動作環境を元に解説しております。OS および Excel のバージョンの違いにより、解説と不一致な部分がありますがご了承ください。

●Windows 7 SP1 (32bit 版)　＋Excel2010　(32bit 版)

（不一致な例）　タスクバーの表示、ポップアップウィンドウの表示　etc.

４．入力方法

本マニュアルでは、入力方法を次の順序で解説いたします。

１）JAMA シートの準備

２）起動手順

３）入力

（１）納入部品情報の入力

（２）構成部品情報の入力

（３）各品番で使用している材料情報の入力（規格、材料記号等）

（４）各材料で使用している化合物情報の入力（成分データ）

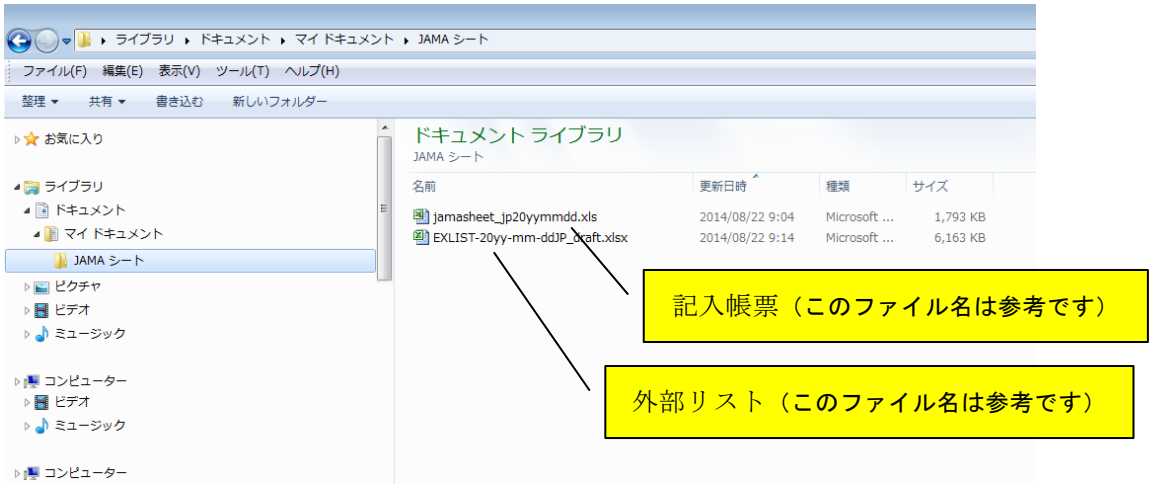
（５）材料・化合物でリサイクル情報や法規適合情報の入力

４）エラーチェック

５）データ送信

１）JAMA シートの準備

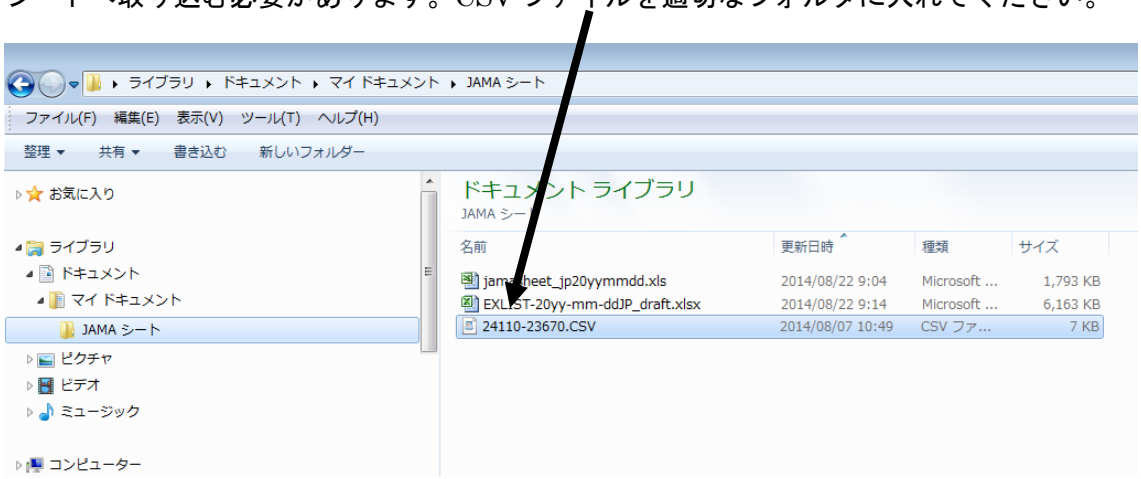
最新の JAMA シート（「記入帳票」と「外部リスト」）を入手し（参照先⇒P.3）、同じフォルダへ入れます。エクセルマクロソフトが機能するため、同じフォルダであることが必要です。



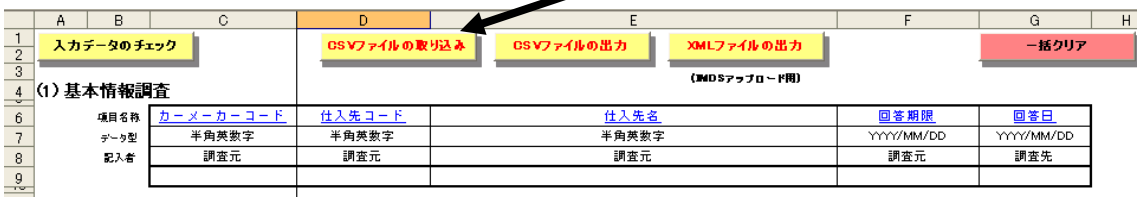
注意！　外部リストの名前(EXLIST-20yy-mm-ddJP)を変更しないでください。エクセルマクロが機能するために、必要な情報です。外部リストが最新かどうかは、一般社団法人 日本自動車部品工業会（JAPIA）公式サイトを確認してください。

また、同じフォルダに異なるバージョンの外部リストを入れないでください。

調査依頼元から調査品番などが入力された CSV ファイルが送付された場合は、JAMA シートへ取り込む必要があります。CSV ファイルを適切なフォルダに入れてください。



JAMA シートの「入力帳票」という名前のシートにある「CSV ファイルの取り込み」ボタンをクリックすると、データを取り込むことができます。



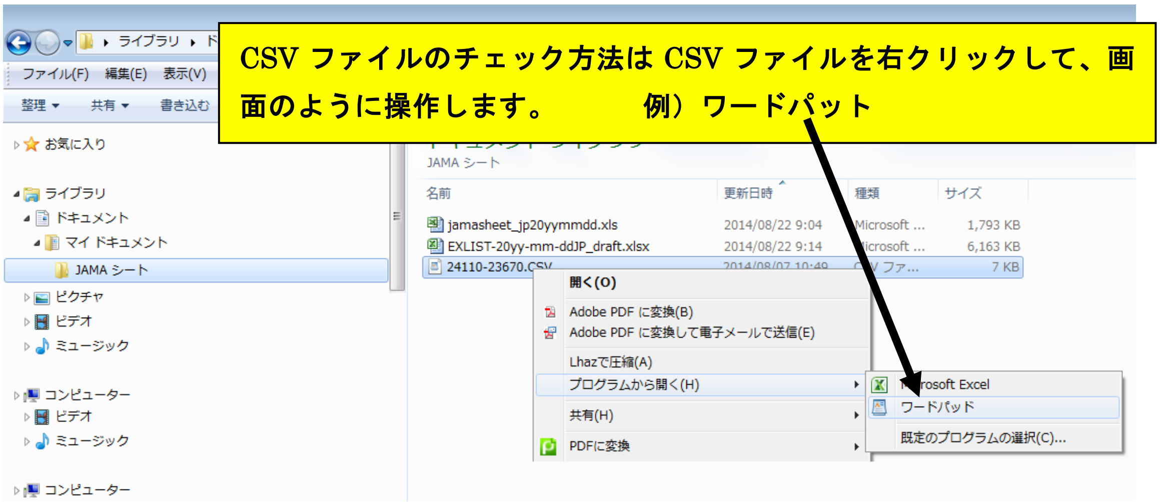
注意！

①CSV ファイルを取り込む JAMA シートは未入力状態でなければなりません。基本情報（調査依頼元情報）などが入力された場合でも CSV ファイルを取り込めません。「一括クリア」ボタンをクリックすると、JAMA シートを未入力状態にすることができます。

②既報告データを流用する場合本機能を活用しますが、JAMA シートのバージョンアップによる変更後も旧バージョンの既報告データを取り込むことが可能です。その場合、バージョンアップによる変更データの更新を忘れないようにお願いします。また JIS 改訂などによる外部リスト変更により、エラーチェックでエラーが発生する場合がありますので修正してください。

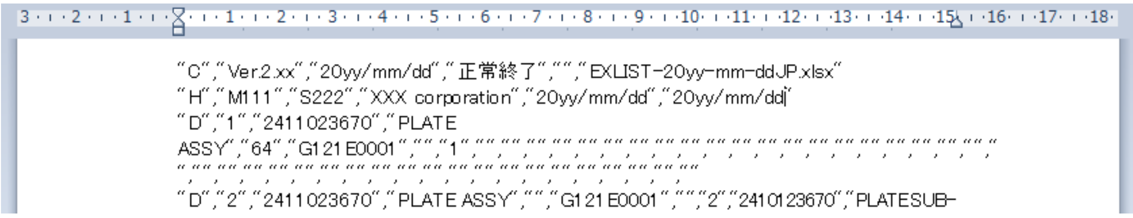
③CSV ファイルを Excel で開いた後保存しないでください。データが壊れて、CSV ファイルの取り込みができなくなります。CSV ファイルのデータが壊れているかどうかを確認する時はワードパットやメモ帳などで開いてください。

参考：CSV ファイルの確認方法



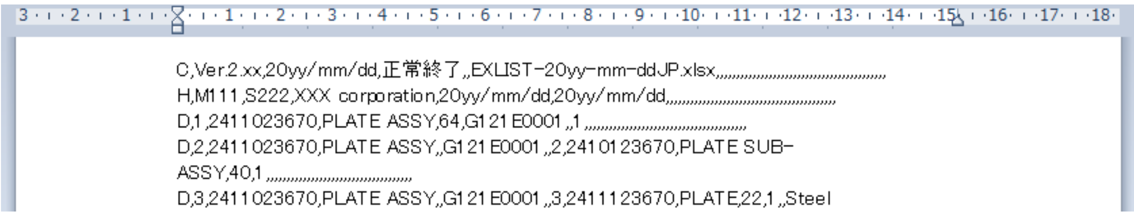
CSV ファイルのチェック方法は CSV ファイルを右クリックして、画面のように操作します。　　例）ワードパット

参考：正常な CSV ファイル



"C","Ver.2.xx","20yy/mm/dd","正常終了","","EXLIST-20yy-mm-ddJP.xlsx"
"H","M111","S222","XXX corporation","20yy/mm/dd","20yy/mm/dd"
"D","1","2411023670","PLATE
ASSY","64","G121E0001","","1","","","","","","","","","","","","","","","","","","","",
"",
"D","2","2411023670","PLATE ASSY","","G121E0001","","2","2410123670","PLATESUB-

参考：壊れた CSV ファイル



C,Ver.2.xx,20yy/mm/dd,正常終了,,EXLIST-20yy-mm-ddJP.xlsx,,,
H,M111,S222,XXX corporation,20yy/mm/dd,20yy/mm/dd,,
D,1,2411023670,PLATE ASSY,64,G121E0001,,1,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
D,2,2411023670,PLATE ASSY,,G121E0001,,2,2410123670,PLATE SUB-
ASSY,40,1,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
D,3,2411023670,PLATE ASSY,,G121E0001,,3,2411123670,PLATE,22,1,,Steel

一例としてこのような壊れ方をします。
" " マークがなく、,,,,,,だけが連続しています。

参考：壊れた CSV ファイルの復元方法

調査依頼元へご相談し再送信してもらうか、壊れた CSV ファイルを Excel で開いて品番情報などのデータを入力帳票にコピーするか、データの内容によって選択してください。

２）起動手順

「記入帳票」をダブルクリックし、パスワードを入力します。

注意！

① パスワードは英数半角で、大文字・小文字の識別をします。

② パスワードは JAMA シートが改正されるまで有効です。改正時にパスワードが変更される場合があります。

③ パスワードは調査依頼元より開示されます。パスワードは自社の調査のためのサプライチェーン限定でご使用をお願いいたします。無関係な第三者にパスワードを知られないようにご配慮をお願いします。

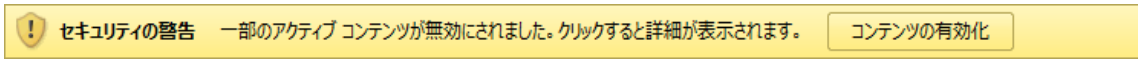
④ 外部リストはセキュリティの関係で開きません。材料情報などは「JAMA/JAPIA 統一データシート(外部リスト)：抜粋」を参照願います。

参考：「JAMA/JAPIA 統一データシート(外部リスト)：抜粋」の入手先

一般社団法人 日本自動車部品工業会（JAPIA）公式サイト

http://www.japia.or.jp ⇒「JAMA/JAPIA 統一データシート」を選択

JAMA シートが起動したとき、次のような「メッセージバー」が表示されましたら、「コンテンツの有効化」ボタンをクリックします。



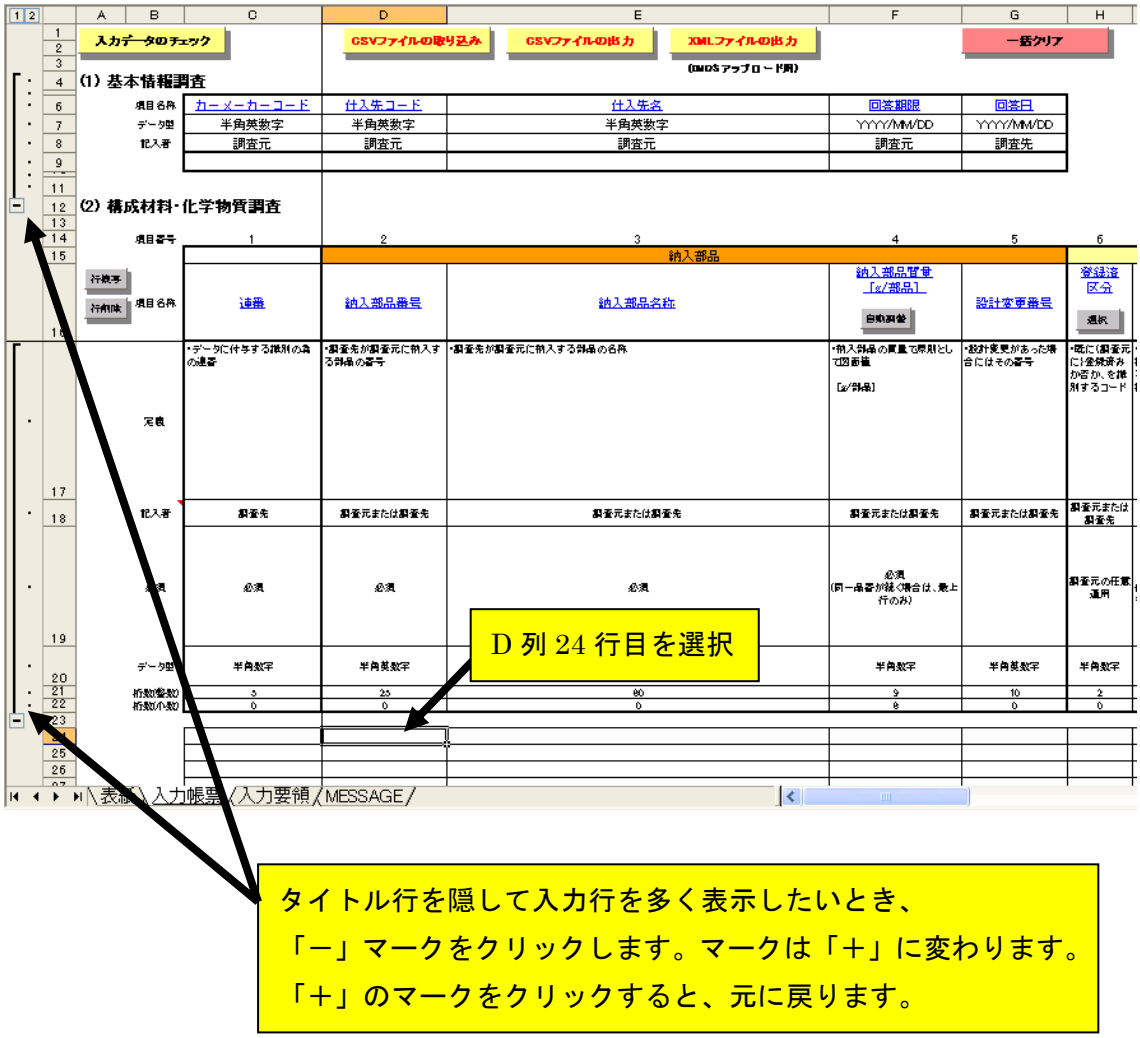
注意！（Excel2010 の場合）

上記のような「メッセージバー」が表示されない場合、コンピューターが悪意のあるユーザから攻撃を受ける可能性がある状態になっているか、または JAMA シートに組み込まれているマクロが機能しない状態になっていることが考えられます。その場合には、巻末の＜補足２＞を参考にして、Excel を適切な設定にすることをお勧めします。

「記入帳票」は、次の 4 つのシートから構成されています。

No	シート名	機能
1	表紙	JAMA シートの概要解説
2	入力帳票	入力、エラーチェック、ファイル入出力
3	入力要領	入力帳票の各セルの説明
4	MESSAGE	エラーチェック結果の表示

入力は「入力帳票」のシートを使用して行います。



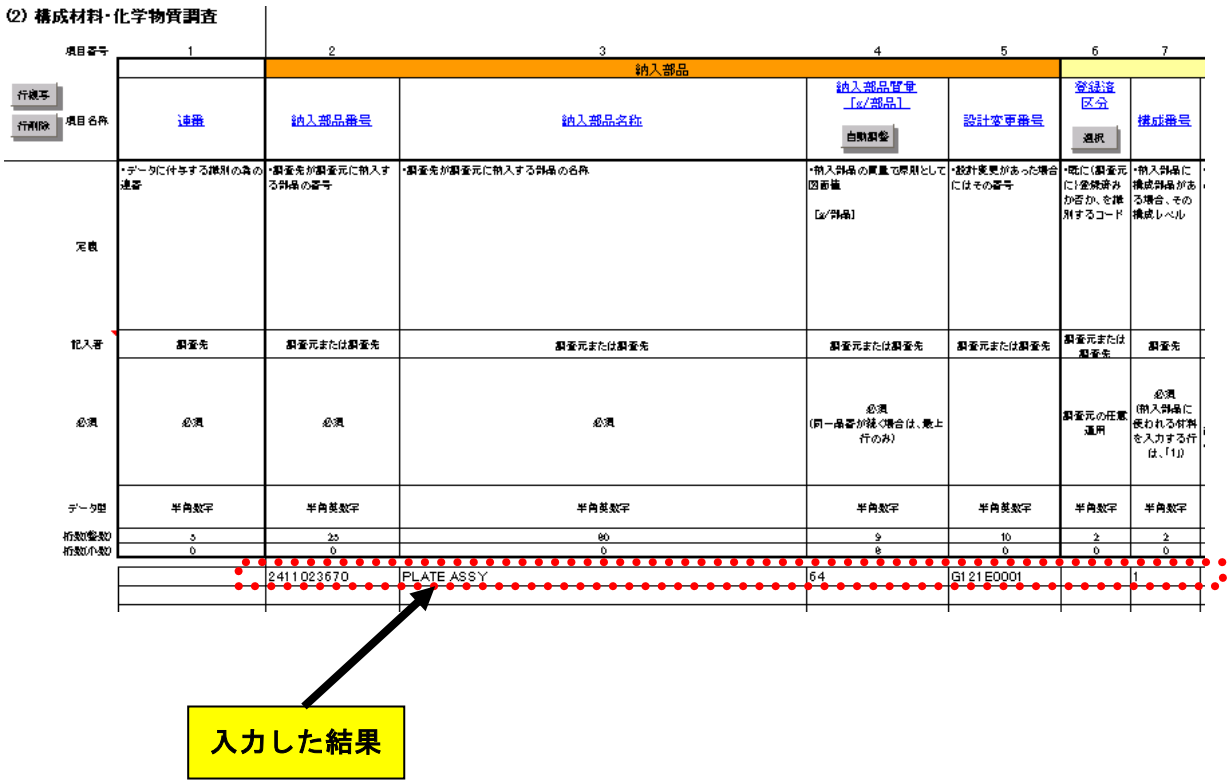
タイトル行を隠して入力行を多く表示したいとき、
「－」マークをクリックします。マークは「＋」に変わります。
「＋」のマークをクリックすると、元に戻ります。

３）入力

（１）納入部品情報の入力

入力を開始するセルは「D 列 24 行目」です。以下の納入部品情報を入力します。

項目番号	入力項目	入力義務
2	納入部品番号	**必須**
3	納入部品名称	**必須**
4	納入部品質量	**必須**
5	設計変更番号	設計変更があれば記入
6	登録済区分	任意（調査依頼元の指示に従う）
7	構成番号	**必須、「１」を入力**

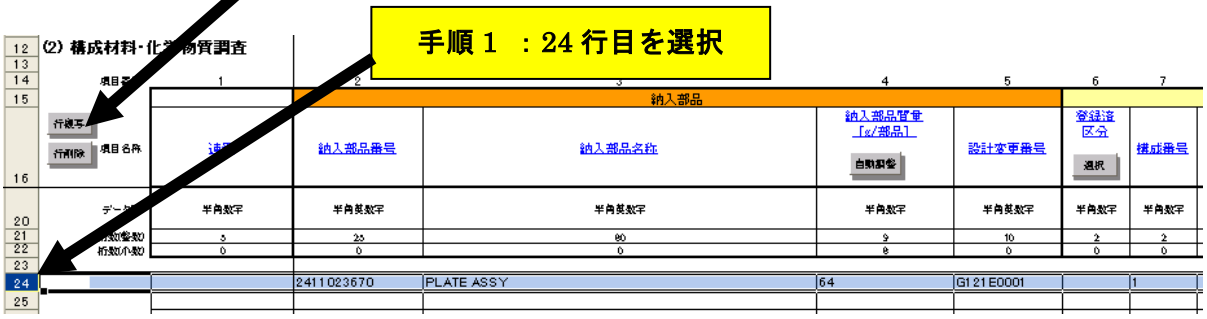


（２）構成部品情報の入力

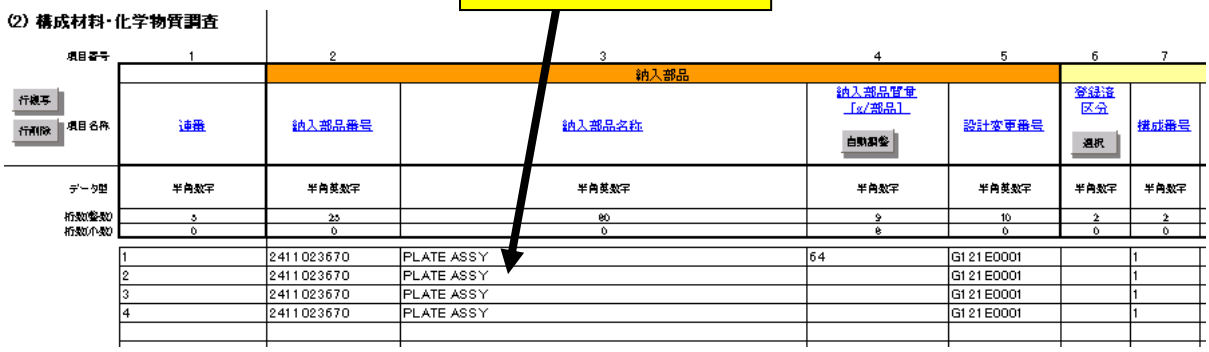
次に構成部品情報を入力していきます。効率的に入力するため、「行複写」ボタンを使用すると便利です。

手順２　：行複写を構成部品数分クリック（本事例では３部品なので３回「行複写」をクリック）

手順１　：24 行目を選択



３行複写した結果



次に以下の項目を入力します。

項目番号	入力項目	入力義務
7	構成番号	必須、「部品表」のレベルに相当
8	構成部品番号	「調査依頼元品番」がある場合必須
9	構成部品名称	必須
10	構成部品質量	必須（最上行のみ（注参照））
11	構成部品数量	必須

注意！　IMDS との互換性を考慮し、構成部品番号と構成部品名称のうち少なくとも構成部品名称を記入するように心がけて下さい。

注意！　「構成部品質量」の「自動調整機能」については、「操作手順書」を参照して下さい。この機能を使用するとエラーチェックでのエラー発生防止になります。

参考：「操作手順書」の参照先⇒ P.29

一般社団法人 日本自動車部品工業会（JAPIA）公式サイト

http://www.japia.or.jp　　⇒「JAMA/JAPIA 統一データシート」を選択

3 つの構成部品を入力します。

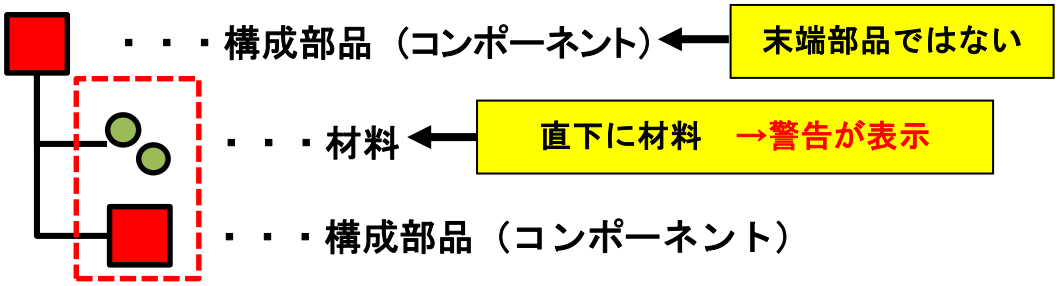
構成部品を入力した結果（構成番号を「 2 」へ変更します）

(2) 構成材料・化学物質調査

項目番号	1	6	7	8	9	10	11
		部品構成					
行複写 / 行削除 / 項目名称	連番	登録済区分 選択	構成番号	構成部品番号	構成部品名称	構成部品質量A [g/個] 自動調整	構成部品数量 [/直上構成部品]
データ型	半角数字	半角数字	半角数字	半角数字	半角英数字	半角数字	半角数字
桁数(整数)	5	2	2	25	80	9	3
桁数(小数)	0	0	0	0	0	8	0
	1		1				
	2		2	2410123670	PLATE SUB-ASSY	40	1
	3		2	2411223670	COLLAR	8.8	2
	4		2	2411323670	COLLAR	3.2	2

次に複合部品である 24101-23670 の情報を入力していきます。この部品には子部品として、24111-23670 PLATE ， 94225-23670 NUT,WELD が存在し、溶接後、亜鉛めっきとクロメート処理がなされています。

この例では、子部品の入力に注意が必要です。下図のように同一レベルで部品と材料が混在して配置されている構成の場合、エラーチェックにて「警告」が表示されるからです。



そのため、溶接棒や亜鉛めっき、クロメート処理のような場合には、形式的なダミー部品を構成の中に設定し、その下に溶接棒や亜鉛めっき、クロメート処理の材料を入力していくことになります。

形式的なダミー部品を含めた子部品の数だけ、25 行目を複写して入力します。この例では、子部品は 5 個ですので、5 回複写します。次に部品表の構成（参照先⇒ P.4,5）を参照し、親子関係を「構成番号」で表します。形式的なダミー部品にも、構成番号（項目番号 7）に「 3 」を入力して、PLATE と NUT と同じレベルで入力します。

続いて部品表を見て、構成部品番号、構成部品名称、構成部品質量、構成部品数量を入力します。

形式的なダミー部品の構成部品番号は、空欄（ブランク）のままでもよいですし、整理番号のような形式的なダミー部品番号(1,2,3,…や、DUMMY1,DUMMY2,DUMMY3,…等）を入力しても構いません。

構成部品を全て入力した結果

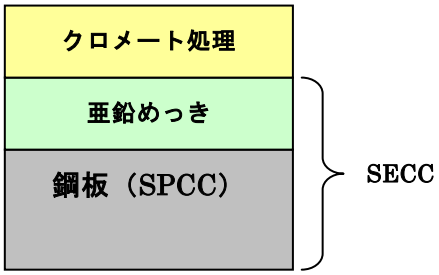
(2) 構成材料・化学物質調査

項目番号	1	6	7	8	9	10	11
	部品構成						
行複写 / 行削除 / 項目名称	連番	登録済区分 選択	構成番号	構成部品番号	構成部品名称	構成部品質量A [g/個] 自動調整	構成部品数量 [／直上構成部品]
	1		1				
	2		2	2410123670	PLATE SUB-ASSY	40	1
	3		3	2411123670	PLATE	22	1
	4		3	9422523670	NUT,WELD	4.2	4
	5		3		WELDING	1.0	1
	6		3		ZINC PLATING	0.18	1
	7		3		CHROMATE PLATING	0.02	1
	8		2	2411223670	COLLAR	8.8	2
	9		2	2411323670	COLLAR	3.2	2

（３）各品番で使用している材料情報の入力（規格、材料記号等）

次に、材料情報を入力します。ここで重要な点は、「入力行数を決定するのは、材料数」であるということです。具体的な入力方法を別の構成部品である 24113-23670 の COLLAR で使用されているクロメート処理された電気亜鉛めっき鋼板(SECC)で例示していきます。

COLLAR の材料構成



重要！
材料情報は、材料を構成するレベルで入力します。SECC のようなめっき鋼板の場合、めっき前の鋼材である SPCC の情報が必要になります。

COLLAR の場合、上図のように 3 材料で構成されていると判断できます。この 3 材料について以下の項目を入力していきます。

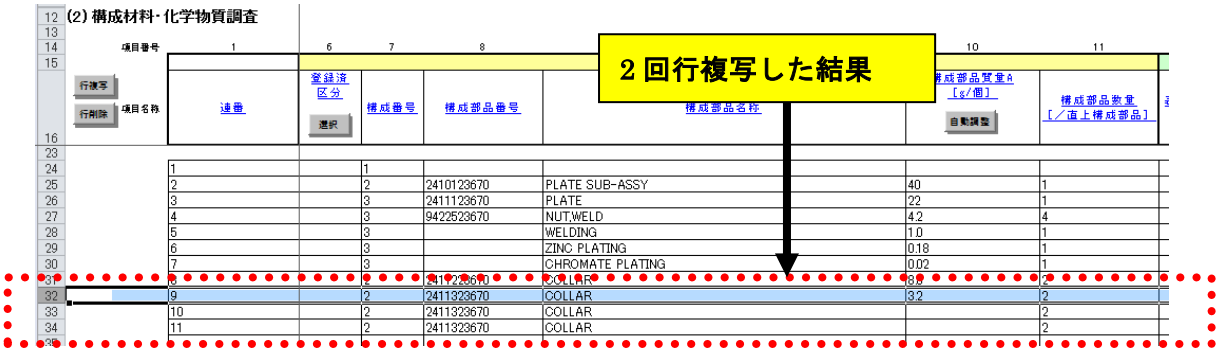
注意！　欧州廃車指令などの環境負荷物質に関する環境規制では、環境負荷物質の規制濃度を評価する単位として「均質材料」を想定しております。従って亜鉛めっきクロメートは、亜鉛めっきとクロメート処理のような化成皮膜と分離する必要があります。亜鉛めっき鋼板は均質材料とは見なされませんので、ご注意ください。

参考：めっき鋼板、塗装鋼板、その他被覆材料は均質材料でないため、外部リストにありません。めっき鋼板 SECC などを入力した場合エラーチェックでエラーの原因になります。

項目番号	入力項目	入力義務
13	構成材料名称	**必須**
14	材料商品名	任意
15	材料質量	**必須（最上行のみ）**
16	材料規格	**必須**
17	材料コード	**必須（1.x ～4.x）**，任意（5.x～9.x）
18	材料記号	**必須（5.x ）**，任意（5.x 以外）
19	VDA 材料分類	**必須（VDA（独自工会）が定義した分類）**

参考：「VDA 材料分類コード日英対照表」の入手先
一般社団法人 日本自動車部品工業会（JAPIA）公式サイト
http://www.japia.or.jp　　⇒「JAMA/JAPIA 統一データシート」を選択

3 材料を入力するため 32 行目 を 3 行 になるように 2 回、行複写します。



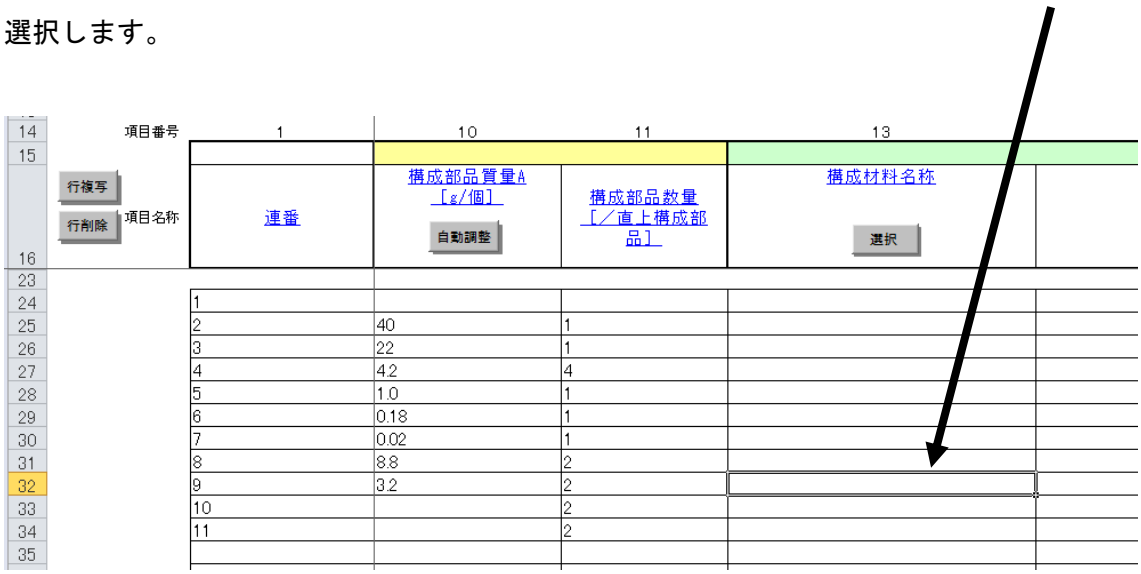
重要！

金属、めっき関連の JIS 規格材料について規格成分データを自動入力できます（めっき関連は業界標準値）。JIS 規格材料でも、「 0.1% 以上」という成分規格が規定されている材料は登録されていませんので、従来通りの入力方法となります。

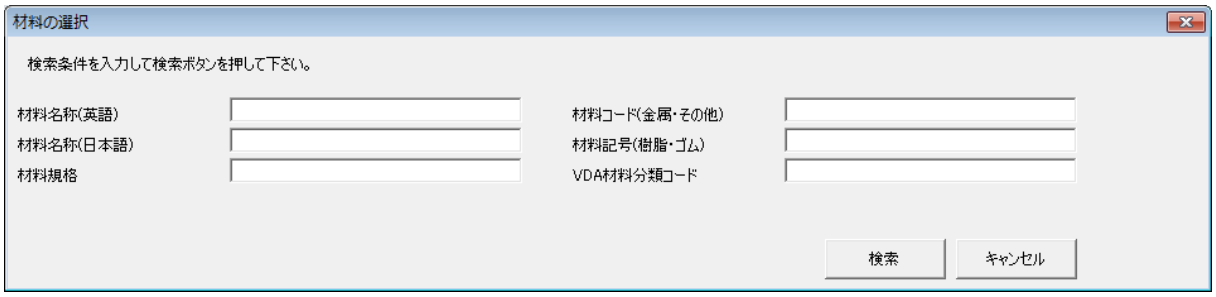
注意！　自社カスタム仕様（公差変更や成分追加など）で運用している場合は自動入力しないで自社データを入力してください

参考：IMDS などとのグローバルなデータ連携を行うため、IMDS へ規格成分データのある材料を登録していきます。

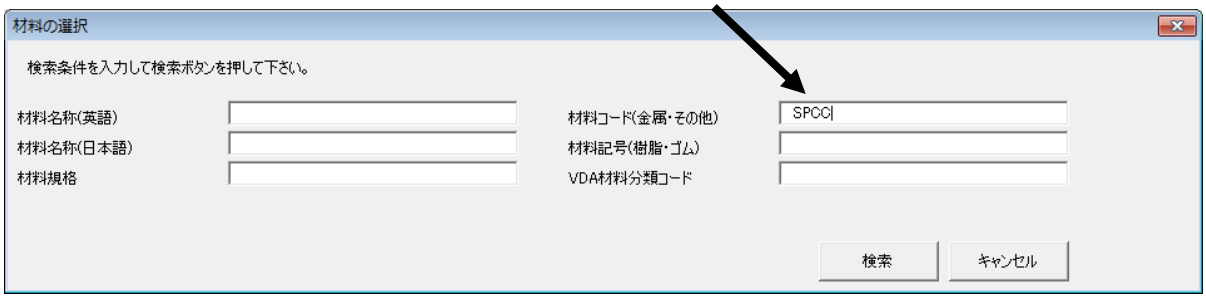
JIS 規格材料である SECC を使用している 24113-23670 の COLLAR について、自動入力方法を行います。材料入力するため、「項目番号 13」の「構成材料名称」の 32 行目を選択します。



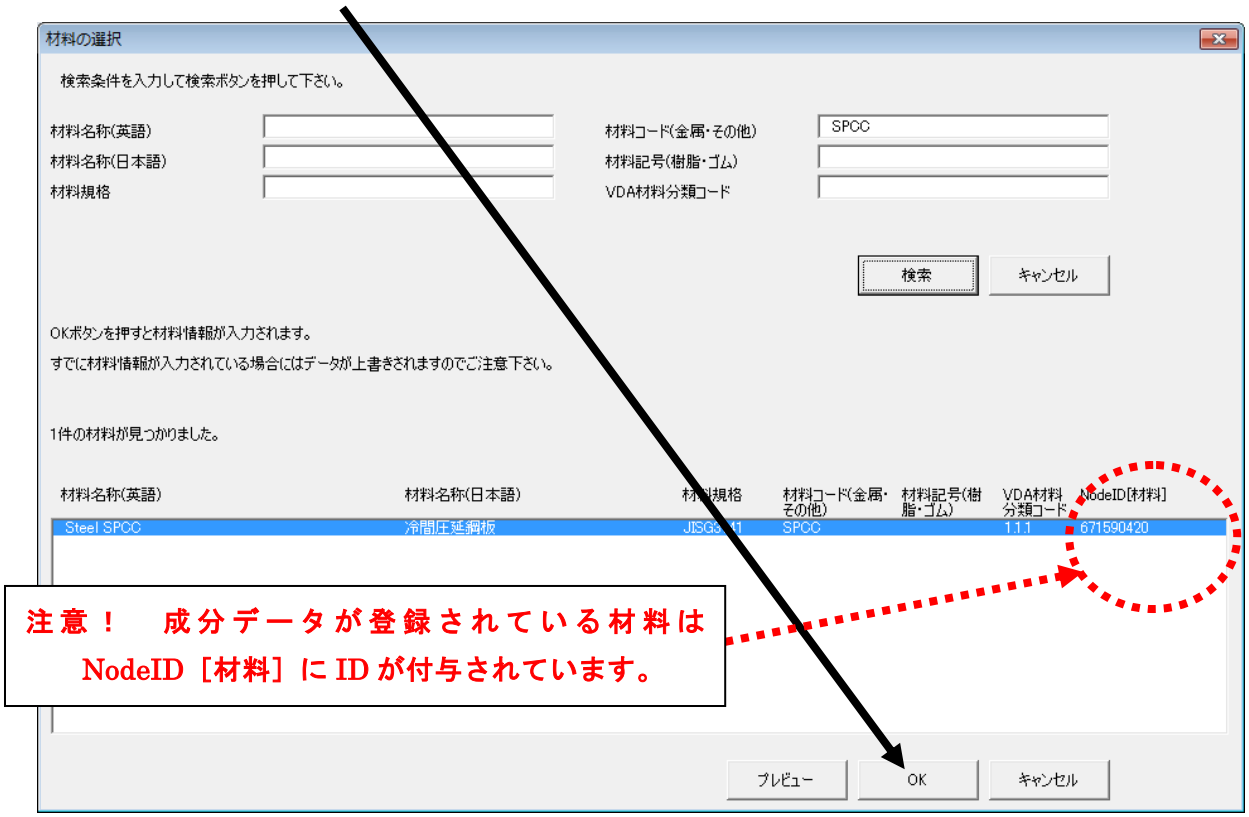
この状態で「構成材料名称」の下にある「選択」ボタンをクリックすると、検索ウインドウが出ます。（初回選択時は約 1 分かかる場合があります）



今回は SPCC ですので、材料コードへ「SPCC」を入力して検索を実施します。



検索の結果が表示されるので、複数ある場合は選択を行いますが、今回は 1 件なので「OK」ボタンをクリックします。



参考：「材料名称（英語）」にて検索する場合、「Steel」で検索するとヒット数が多く、検索できない恐れがあります。「Steel　SP」なら効率的に検索できます。「材料名称（日

本語)」で「鉄」にて検索すると、「SPCC」がヒットしません。「鋼板」で検索するとヒットします。

本検索結果により、材料規格や材料コード、VDA 材料分類コードなど、材料特有の情報が自動的に入力されます。

自動的に成分数に応じて、行が複写されます。

14	項目番号	1	5	6	7	8		9	10	
15				部品構成						
16	行複写 行削除 項目名称	連番	設計変更番号	登録済区分 選択	構成番号	構成部品番号		構成部品名称	構成部品質量A [g/個] 自動調整	[
32		9	G121E0001		2	2411323670	COLLAR		3.2	2
33		10	G121E0001		2	2411323670	COLLAR			2
34		11	G121E0001		2	2411323670	COLLAR			2
35		12	G121E0001		2	2411323670	COLLAR			2
36		13	G121E0001		2	2411323670	COLLAR			2

材料規格・材料コード・VDA 材料分類コード、成分等が自動入力されます。

16	17	18	19
材料規格	材料コード (金属 ・ その他)	材料記号 (樹脂・ゴム)	VDA材料分類コード
JISG3141	SPCC		1.1.1
JISG3141	SPCC		1.1.1
JISG3141	SPCC		1.1.1
JISG3141	SPCC		1.1.1
JISG3141	SPCC		1.1.1

20	23	24	25	26
化合物				
含有数整理番号	プロセスケミカルの存在形態 選択	化合物コード 選択	化合物名称	化合物含有率
1		7440-44-0	Carbon	0.075
2		7439-96-5	Manganese	0.5
3		7723-14-0	Phosphorus	0.050
4		7704-34-9	Sulphur	0.0175
5		7439-89-6	Iron	99.3575

42	43	44	45	46	47
部工会オプション					
化合物含有率(最小値)	化合物含有率(最大値)	化合物含有率(残部)	Node ID [部品] (IMDS管理)	Node ID [材料] (IMDS管理)	Node ID [化合物] (IMDS管理)
0	0.15			671590420	1995
0	1.0				2301
0	0.100				2835
0	0.035				3065
		1			1762

重要！

注意！

①自動入力結果を変更するとエラーチェックで NodeID［材料］が自動消去されます

②材料コードおよび材料記号で形状記号や熱処理記号は、ほとんどの材料で省略されて登録されております。従って図面指示の材料記号をそのまま入力するとエラーを誘発する恐れがあります。エラーを誘発しないために、構成材料名称選択ボタンをクリックして選択してください。（例：検索結果で、材料コードや材料記号に「@」や「$」がある材料が出てきます。（例 C1100@）

「$」は ＄ の部分に適切な文字列を入力しなければならない材料、「@」は削除するか適切な文字列を入力しなければならない材料で、金属材料の形状記号（B：棒、P：板等）などを入力します。また樹脂材料の充填剤情報（GF35、MD70 等）などを入力します。

③検索できない場合は調査依頼元とご相談をお願いします。

特に「 JAMAH4444 」のような*「JAMA」で始まる材料規格は、該当する公的規格がない場合のみ、使用願います。*

参考：

①公的規格のある材料の自動入力や材料コード・材料記号などをご説明した資料を公開しています。従来との変更内容も説明してありますので、ご確認をお願いします。

・材料リスト補足説明資料

・材料マスタに関する説明資料

②外部リストには自動車に使用されると予想される JIS 材料は網羅されております。また JAMA シート改正時に外部リストの見直しを実施しますので、JIS の改訂などがフォローされます。大幅な JIS の改訂や重要な新規 JIS 発行があった場合は都度外部リストを見直す可能性がありますので、最新の外部リストを使用ください。

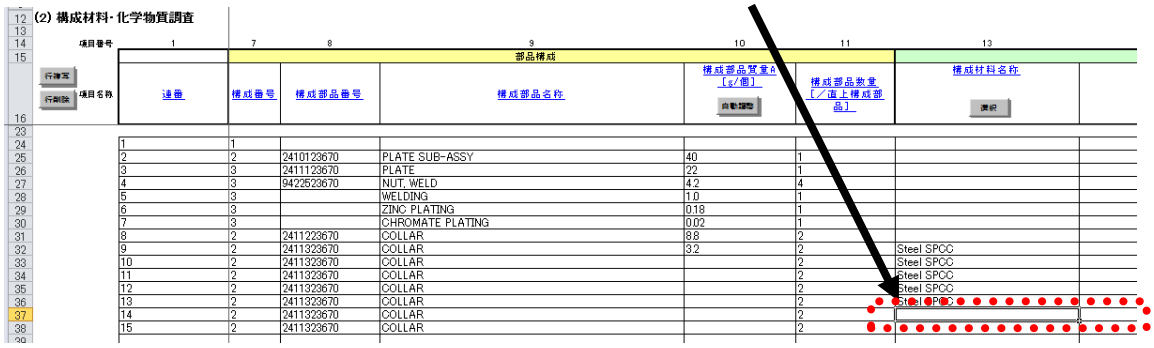
なお材料の外部リストへの追加要望については、調査依頼元または JAPIA へご相談願います。

ご確認とお願い

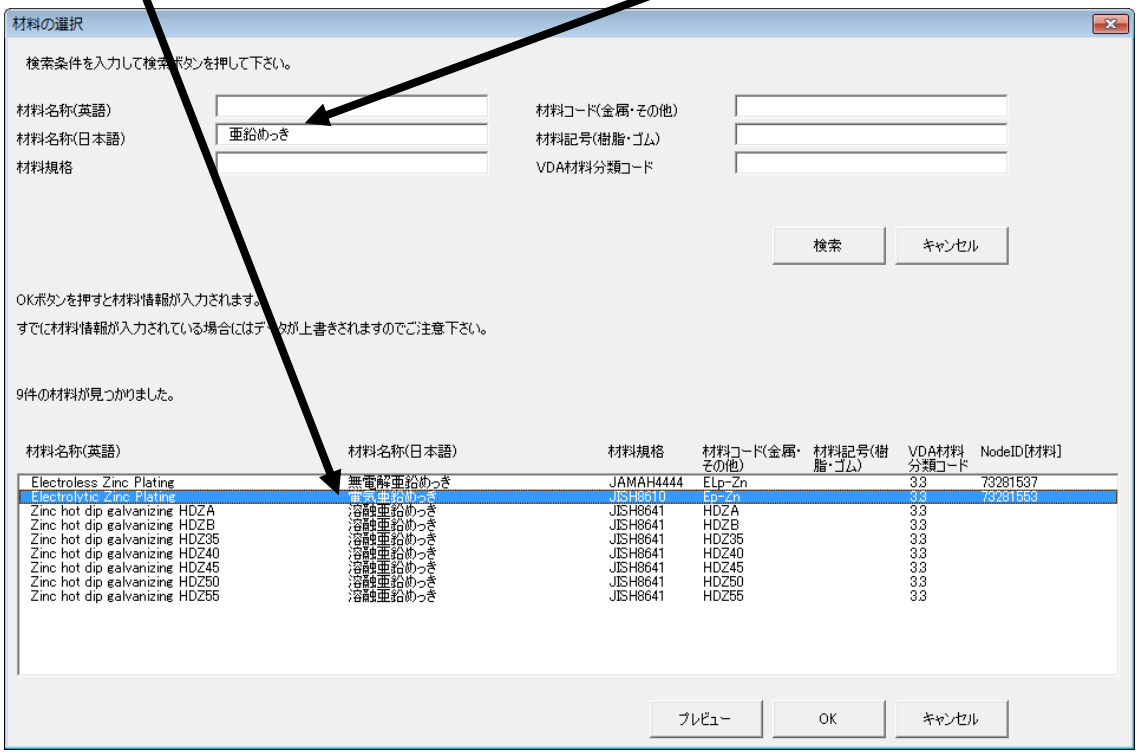
整備しましたデータは、あくまでも JIS 規格材料の入力支援のためであり、データの内容を JAPIA が保証したことではありません。VDA 材料分類などについて調査依頼元の指示があれば、調査依頼元とご相談してください。

また本データは JAMA シートでの調査に使用するために整備されたものですので、調査目的以外での使用は禁止させていただきます。

以下同様に亜鉛めっき、クロメート処理について検索・選択を実施していきます。亜鉛めっきを検索するため、以下のセルをクリックします。

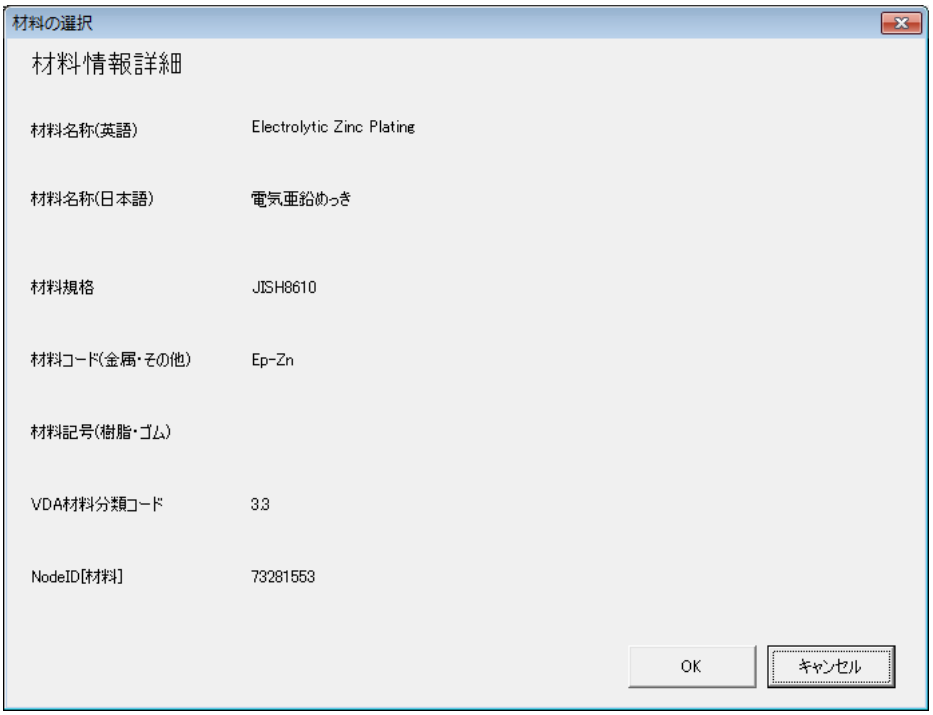


「亜鉛めっき」を材料の選択画面で検索し（材料名称「亜鉛めっき」で検索）、公的規格の電気亜鉛めっきを選択します。



「プレビュー」ボタンをクリックすると、検索結果画面で選択している材料の詳細を確認することができます。

検索結果画面では表示文字数の制限から材料名称等の文字列がすべて表示できません。表示されていない文字列をプレビュー画面で表示し詳細を確認して材料を選択することが可能です。



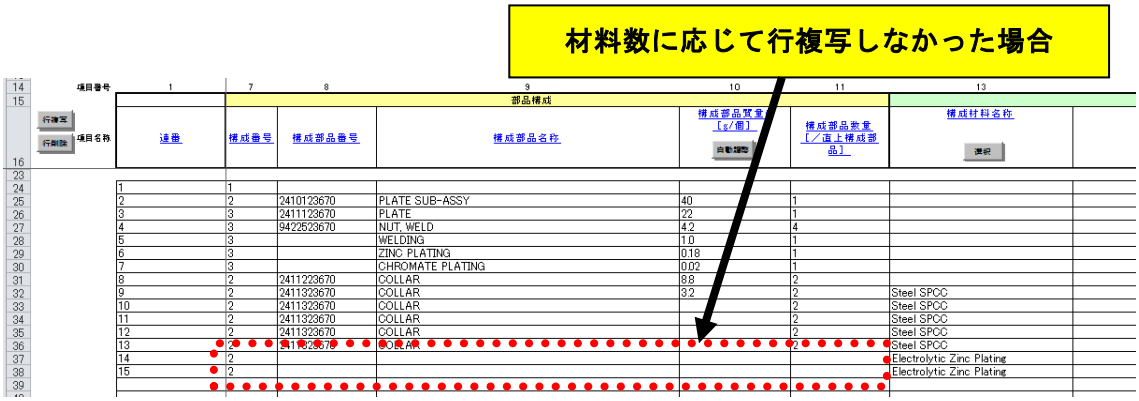
「材料の選択（プレビュー）」画面の「OK」ボタンをクリックすると入力帳票に値が反映されます。

※「材料の選択」画面で検索結果を選択し「OK」ボタンをクリックしたのと同様の動作です。

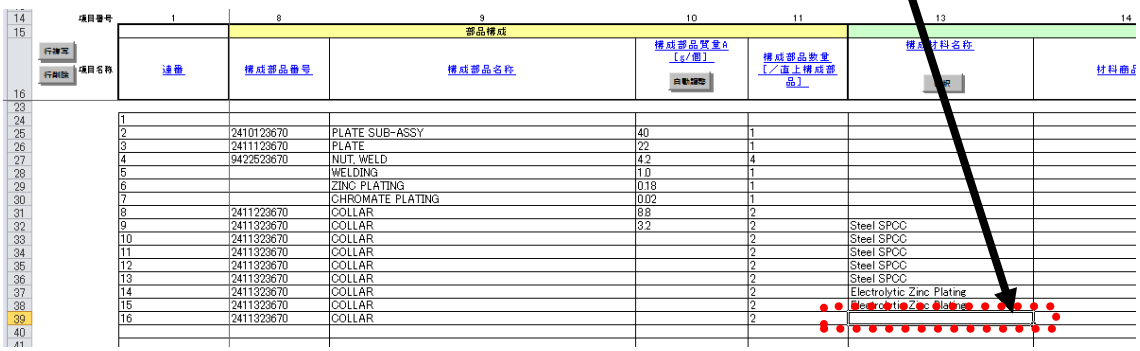
「材料の選択（プレビュー）」画面の「キャンセル」ボタンをクリックすると「材料の選択」画面の検索結果に戻ります。他の検索結果を選択し再度プレビューすることが可能です。

注意！

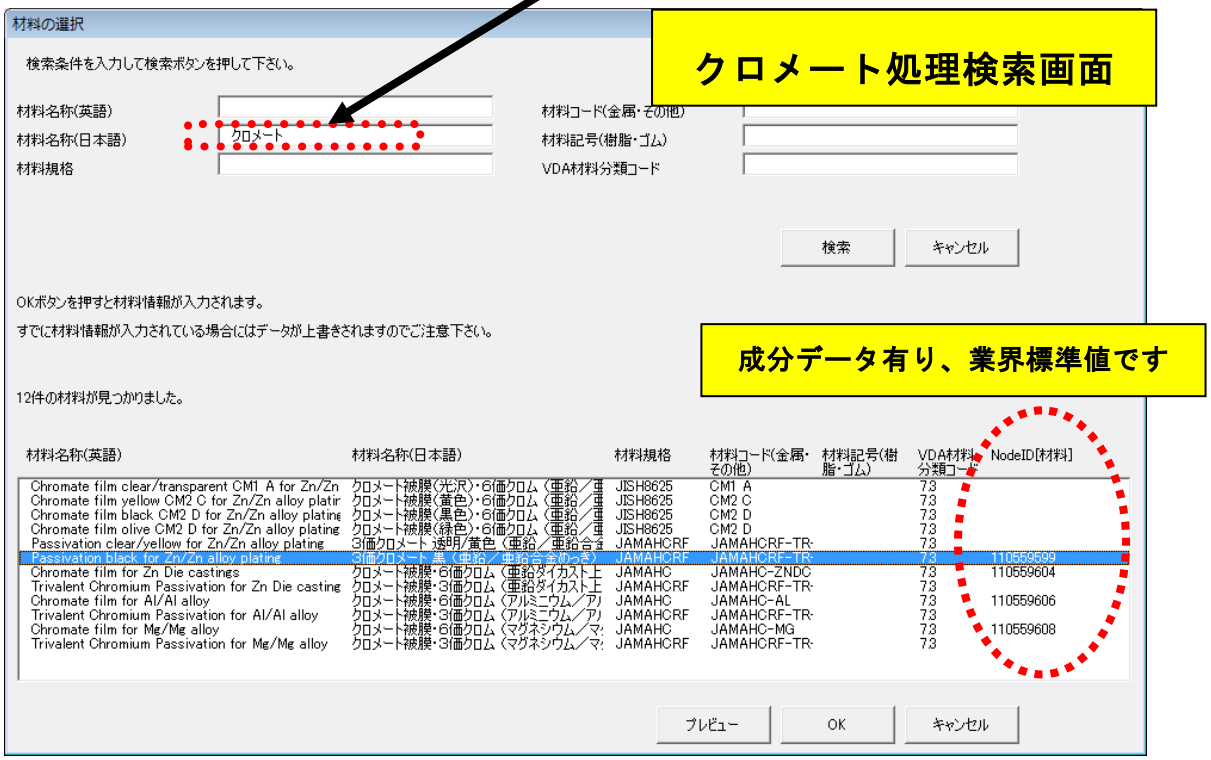
P.17 にて、材料の数に応じて行複写しないと、以下のようにデータが自動コピーされず、手入力またはコピー操作が必要になります。



次にクロメート処理を検索します。亜鉛めっき検索時と同じように以下のセルをクリックします。



材料の選択画面でクロメート処理を検索（材料名称「クロメート」で検索）し、「3 価クロメート 黒」を選択します。3 価クロムのクロメート処理で防錆用のトップコートが実施されている場合は、さらに材料を追加します（行複写し、トップコートの材料を選択）。



以上の結果、以下の画面になります。成分データのある場合入力時間を少なくできます。

項目番号	1	9	10	11	13
		部品構成			
行挿入 / 行削除 / 項目名称	連番	構成部品名称	構成部品質量A [g/個] 自動整形	構成部品数量 [／直上構成部品]	構成材料名称 選択
	1				
	2	PLATE SUB-ASSY	40	1	
	3	PLATE	22	1	
	4	NUT, WELD	4.2	4	
	5	WELDING	1.0	1	
	6	ZINC PLATING	0.18	1	
	7	CHROMATE PLATING	0.02	1	
	8	COLLAR	8.8	2	
	9	COLLAR	3.2	2	Steel SPCC
	10	COLLAR		2	Steel SPCC
	11			2	Steel SPCC
	12			2	Steel SPCC
	13			2	Steel SPCC
	14			2	Electrolytic Zinc Plating
	15			2	Electrolytic Zinc Plating
	16			2	Passivation black for Zn/Zn alloy plating
	17			2	Passivation black for Zn/Zn alloy plating
	18			2	Passivation black for Zn/Zn alloy plating
	19	COLLAR		2	Passivation black for Zn/Zn alloy plating
	20	COLLAR		2	Passivation black for Zn/Zn alloy plating
	21	COLLAR		2	Passivation black for Zn/Zn alloy plating

材料自動入力結果

16	17	18	19	20	23	24	25	26
				化合物				
材料規格	材料コード (金属・その他)	材料記号 (樹脂・ゴム)	VDA材料分類コード	含有数 整理番号	プロセスケミカルの 選択	化合物コード 選択	化合物名称	化合物含有率
40	30	20	8	3	2	30	300	3
0	0	0	0	0	0	0	0	8
JISG3141	SPCC		1.1.1	1		7440-44-0	Carbon	0.075
JISG3141	SPCC		1.1.1	2		7439-96-5	Manganese	0.5
JISG3141	SPCC		1.1.1	3		7723-14-0	Phosphorus	0.050
JISG3141	SPCC		1.1.1	4		7704-34-9	Sulphur	0.0175
JISG3141	SPCC		1.1.1	5		7439-89-6	Iron	99.3575
JISH8610	Ep-Zn		3.3	1		7440-66-6	Zinc (metal)	99.75
JISH8610	Ep-Zn		3.3			system	Misc, not to declare	0.25
JAMAHCRF	JAMAHCRF-TR-ZNPL		7.3	1		1308-38-9	Chromium(III)oxide	10.5
JAMAHCRF	JAMAHCRF-TR-ZNPL		7.3	2		1308-14-1	Chromium(III)-hydroxide	5.5
JAMAHCRF	JAMAHCRF-TR-ZNPL		7.3	3		7732-18-5	Water	10
JAMAHCRF	JAMAHCRF-TR-ZNPL		7.3	4		59178-46-0	Dichromium tris(hydrogen phosp	53
JAMAHCRF	JAMAHCRF-TR-ZNPL		7.3	5		20427-58-1	Zinc-hydroxide	20
JAMAHCRF	JAMAHCRF-TR-ZNPL		7.3			system	Misc, not to declare	1

42	43	44	45	46	47
部工会オプション					
化合物含有率 (最小値)	化合物含有率 (最大値)	化合物含有率 (残部)	Node ID [部品] (IMDS管理)	Node ID [材料] (IMDS管理)	Node ID [化合物] (IMDS管理)
8	8	0	0	0	0
0	0.15			671590420	1995
0	1.0				2301
0	0.100				2835
0	0.035				3065
		1			1762
		1		73281553	3281499
0	0.5				9999
		1		110559599	1350
4.5	6.5				29545
9	11				3371
50	56				50631410
18	22				4641583
0	2				9999

要申告フラグ（D）、禁止物質フラグ（P）、SVHC フラグの値によって、(24) 化合物コード、(25) 化合物名称 の色およびフォントが変更されます。

D　：茶色
D/P：紫色
P　：赤色
SVHC：斜体のフォント

以上の操作により、24113-23670 の COLLAR に関する材料入力での入力必須項目の

自動入力が完了しました。

次に「材料質量」を入力します。亜鉛めっき質量やクロメート処理質量は材料メーカーやめっき処理業者からの報告値を入力します。

材料質量入力結果

項目番号	1	13	14	15	16	17	18
		構成材料					
項目名称	連番	構成材料名称 選択	材料商品名	材料質量 ［g／構成部品］ 四捨五入	材料規格	材料コード （金属 ・ その他）	材料記号 （樹脂・ゴム）
	6						
	7						
	8						
	9	Steel SPCC		3.1	JISG3141	SPCC	
	10	Steel SPCC			JISG3141	SPCC	
	11	Steel SPCC			JISG3141	SPCC	
	12	Steel SPCC			JISG3141	SPCC	
	13	Steel SPCC			JISG3141	SPCC	
	14	Electrolytic Zinc Plating		0.09	JISH8610	Ep-Zn	
	15	Electrolytic Zinc Plating			JISH8610	Ep-Zn	
	16	Passivation black for Zn/Zn alloy plating		0.01	JAMAHCRF	JAMAHCRF-TR-ZNPL B	
	17	Passivation black for Zn/Zn alloy plating			JAMAHCRF	JAMAHCRF-TR-ZNPL B	
	18	Passivation black for Zn/Zn alloy plating			JAMAHCRF	JAMAHCRF-TR-ZNPL B	
	19	Passivation black for Zn/Zn alloy plating			JAMAHCRF	JAMAHCRF-TR-ZNPL B	
	20	Passivation black for Zn/Zn alloy plating			JAMAHCRF	JAMAHCRF-TR-ZNPL B	
	21	Passivation black for Zn/Zn alloy plating			JAMAHCRF	JAMAHCRF-TR-ZNPL B	

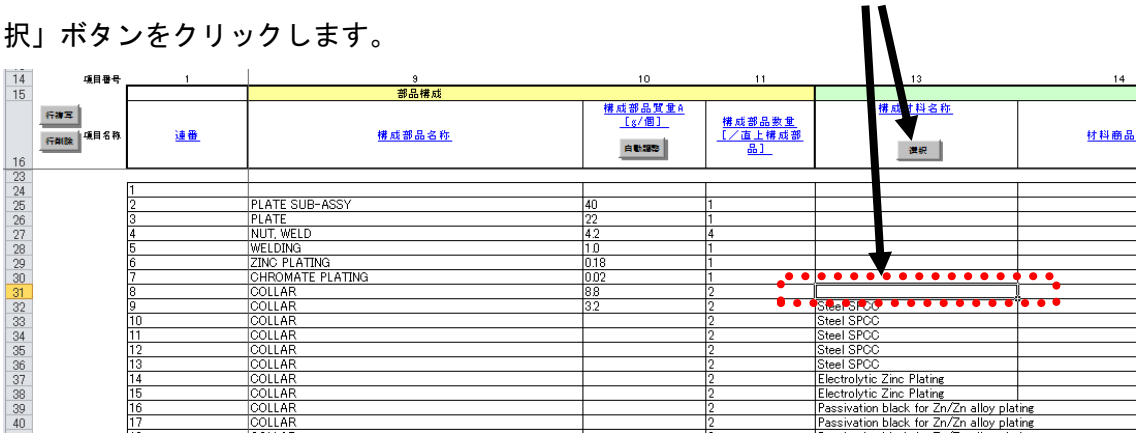
注意！

欧州廃車指令などの化学物質規制では、環境負荷物質の規制濃度を評価する単位は「均質材料」と規定されております。従って亜鉛めっきクロメートは、亜鉛めっきとクロメート処理のような化成皮膜と分離する必要があります。
同様に、化成処理皮膜や塗装の塗膜も分離する必要があります。
この入力方法は世界の自動車メーカーが参加している IMDS（International Material Data System）で推奨されているデファクトスタンダードです。

参考：

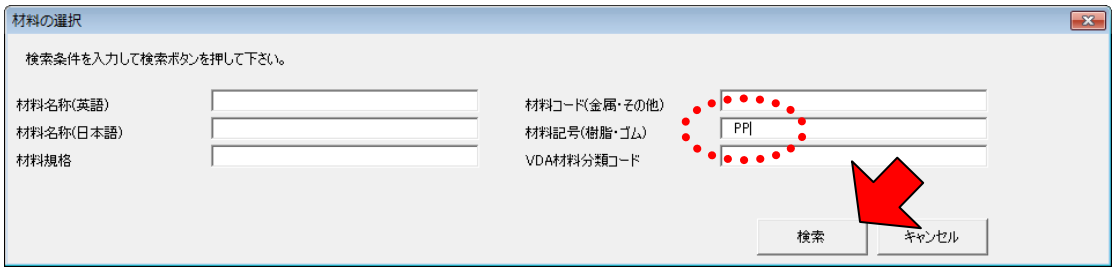
溶融亜鉛めっきでは原料の亜鉛によって環境負荷物質である鉛やカドミウムが規制値を超える材料があります。また一部の無電解めっきでは、浴安定剤の環境負荷物質がめっきに濃縮されて析出している場合や、めっきの前処理である「活性化剤」がコーティングされている場合があります。表面処理業者の報告データなど信頼のおけるデータを使用ください。

次に他の構成部品の「構成材料名称」を入力していきます。24112-23670 の COLLAR は単一の樹脂材料なので、行複写不要です。そのまま以下のセルにカーソルを合わせ、「選択」ボタンをクリックします。



項目番号	1	9	10	11	13	14
		部品構成				
項目名称	連番	構成部品名称	構成部品質量A [g/個]	構成部品数量 [/直上構成部品]	構成材料名称	材料商品
	1					
	2	PLATE SUB-ASSY	40	1		
	3	PLATE	22	1		
	4	NUT, WELD	4.2	4		
	5	WELDING	1.0	1		
	6	ZINC PLATING	0.18	1		
	7	CHROMATE PLATING	0.02	1		
	8	COLLAR	8.8	2		
	9	COLLAR	3.2	2	Steel SPCC	
	10	COLLAR		2	Steel SPCC	
	11	COLLAR		2	Steel SPCC	
	12	COLLAR		2	Steel SPCC	
	13	COLLAR		2	Steel SPCC	
	14	COLLAR		2	Electrolytic Zinc Plating	
	15	COLLAR		2	Electrolytic Zinc Plating	
	16	COLLAR		2	Passivation black for Zn/Zn alloy plating	
	17	COLLAR		2	Passivation black for Zn/Zn alloy plating	

24112-23670 の COLLAR は 35%GF（ガラス繊維）強化 PP（ポリプロピレン）ですので、以下のように PP と入力し、検索します。樹脂・ゴムは材料記号で検索すると、検索が絞り込まれ便利です。



参考：樹脂・ゴムには成分データは整備されていません

ヒットした材料記号の「PP-$」とは、「$」に樹脂充填剤情報を ISO1043 に従い、記述します。今回 35%GF 強化材料なので、「PP-GF35」を入力します。

ガラス繊維等充填剤を含有しない熱可塑性樹脂の場合は、VDA 材料分類コードが上記の「5.1.a」（フィラー（充填剤）を含有する熱可塑性樹脂）ではなく、「5.1.b」（フィラー（充填剤）を含有しない熱可塑性樹脂）を選択します。材料名称（英語名）を見ると簡単にわかります。

次に「材料質量（8.8g）」を入力します。（画面入力結果は省略します）

注：フィラー充填・非充填の区別のある「VDA 材料分類コード」と「材料記号」でエラーチェックを行っています。「VDA 材料分類コード」をご確認願います。

注意！　入力は半角英数で！、空白などを入力するとエラーになります
GF35 の「35」を省略してもエラーチェックでエラーにはなりませんが、化合物入力時に必要なデータですので、入力忘れのないようにお願いします

PP-$ ⇒ PP-GF35 入力結果

参考：「VDA 材料分類コード日英対照表」の入手先

一般社団法人 日本自動車部品工業会（JAPIA）公式サイト

http://www.japia.or.jp　　⇒「JAMA/JAPIA 統一データシート」を選択

16	17	18	19
材料規格	材料コード（金属・その他）	材料記号（樹脂・ゴム）	VDA材料分類コード
ISO1043		PP-GF35	5.1.a

参考：「PP-$」のように「$」部分へ入力しないとエラーになるケースと「A1100@」のように「@」に入力しなくてもエラーにならないケースがあります。

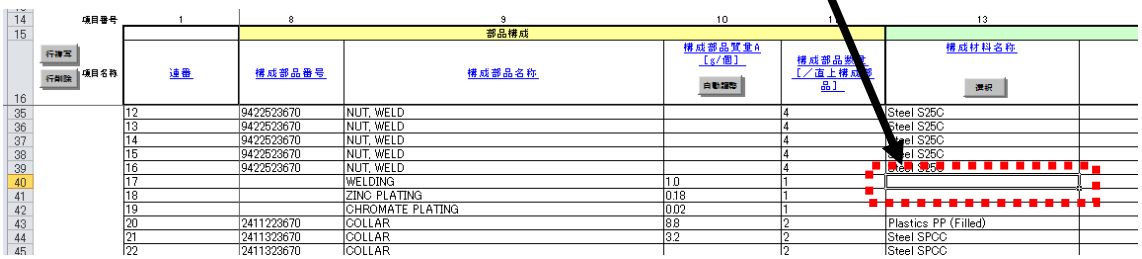
次に複合部品の 24101-23670 の材料入力を説明します。この子部品で品番のある PLATE や NUT,WELD は、それぞれ材質である SPCC と S25C を入力します。ここでも自動入力機能を使うと簡単に入力できます。（成分データ、材料質量の画面は省略）

項目番号	1	8	9	10	11	13
	部品構成					
項目名称	連番	構成部品番号	構成部品名称	構成部品質量A [g/個]	構成部品数量 [／直上構成部品]	構成材料名称
	1					
	2	2410123670	PLATE SUB-ASSY	40	1	
	3	2411123670	PLATE	22	1	Steel SPCC
	4	2411123670	PLATE		1	Steel SPCC
	5	2411123670	PLATE		1	Steel SPCC
	6	2411123670	PLATE		1	Steel SPCC
	7	2411123670	PLATE		1	Steel SPCC
	8	9422523670	NUT, WELD	4.2	4	Steel S25C
	9	9422523670	NUT, WELD		4	Steel S25C
	10	9422523670	NUT, WELD		4	Steel S25C
	11	9422523670	NUT, WELD		4	Steel S25C
	12	9422523670	NUT, WELD		4	Steel S25C
	13	9422523670	NUT, WELD		4	Steel S25C
	14	9422523670	NUT, WELD		4	Steel S25C
	15	9422523670	NUT, WELD		4	Steel S25C
	16	9422523670	NUT, WELD		4	Steel S25C
	17		WELDING	0	1	
	18		ZINC PLATING	0.18	1	
	19		CHROMATE PLATING	0.02	1	
	20	2411223670	COLLAR	8.8	2	Plastics PP (Filled)

続いて、P.14 にて設定した溶接棒、亜鉛めっき、クロメート処理の形式的なダミー部品の材料を入力します。

溶接棒（SWY11）、亜鉛めっき、クロメート処理（３価クロメート 黒）は自動入力機能を使用すると簡単です。（成分データの画面は省略）

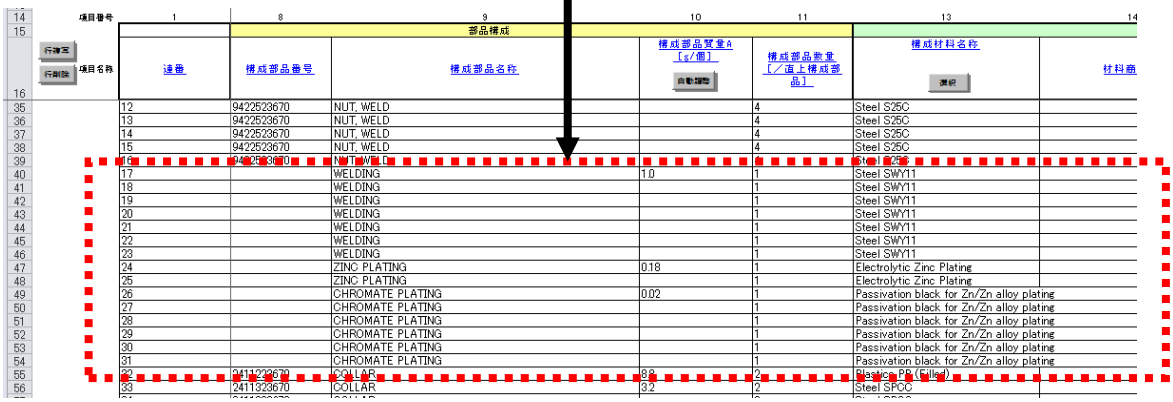
溶接棒・亜鉛めっき・クロメート処理の入力場所



項目番号	1	8	9	10	11	13
		部品構成				
項目名称	連番	構成部品番号	構成部品名称	構成部品質量A [g/個]	構成部品数量 [／直上構成部品]	構成材料名称
35	12	9422523670	NUT, WELD		4	Steel S25C
36	13	9422523670	NUT, WELD		4	Steel S25C
37	14	9422523670	NUT, WELD		4	Steel S25C
38	15	9422523670	NUT, WELD		4	Steel S25C
39	16	9422523670	NUT, WELD		4	Steel S25C
40	17		WELDING	1.0	1	
41	18		ZINC PLATING	0.18	1	
42	19		CHROMATE PLATING	0.02	1	
43	20	2411223670	COLLAR	8.8	2	Plastics PP (Filled)
44	21	2411323670	COLLAR	3.2	2	Steel SPCC
45	22	2411323670	COLLAR		2	Steel SPCC

溶接棒(1g)、亜鉛めっき(0.18g)、クロメート(0.02g)の「材料質量」を入力して、「構成材料」の入力項目を完成させます。

溶接棒・亜鉛めっき・クロメート処理の入力結果



項目番号	1	8	9	10	11	13	14
		部品構成					
項目名称	連番	構成部品番号	構成部品名称	構成部品質量A [g/個]	構成部品数量 [／直上構成部品]	構成材料名称	材料商
35	12	9422523670	NUT, WELD		4	Steel S25C	
36	13	9422523670	NUT, WELD		4	Steel S25C	
37	14	9422523670	NUT, WELD		4	Steel S25C	
38	15	9422523670	NUT, WELD		4	Steel S25C	
39	16	9422523670	NUT, WELD		4	Steel S25C	
40	17		WELDING	1.0	1	Steel SWY11	
41	18		WELDING		1	Steel SWY11	
42	19		WELDING		1	Steel SWY11	
43	20		WELDING		1	Steel SWY11	
44	21		WELDING		1	Steel SWY11	
45	22		WELDING		1	Steel SWY11	
46	23		WELDING		1	Steel SWY11	
47	24		ZINC PLATING	0.18	1	Electrolytic Zinc Plating	
48	25		ZINC PLATING		1	Electrolytic Zinc Plating	
49	26		CHROMATE PLATING	0.02	1	Passivation black for Zn/Zn alloy plating	
50	27		CHROMATE PLATING		1	Passivation black for Zn/Zn alloy plating	
51	28		CHROMATE PLATING		1	Passivation black for Zn/Zn alloy plating	
52	29		CHROMATE PLATING		1	Passivation black for Zn/Zn alloy plating	
53	30		CHROMATE PLATING		1	Passivation black for Zn/Zn alloy plating	
54	31		CHROMATE PLATING		1	Passivation black for Zn/Zn alloy plating	
55	32	2411223670	COLLAR	8.8	2	Plastics PP (Filled)	
56	33	2411323670	COLLAR	3.2	2	Steel SPCC	

参考：

この段階で「構成部品質量」の自動調整ボタンをクリックすると、自動計算され、エラーチェックのエラーを防止できます。同じく「納入部品質量」の自動調整ボタンもクリックすると図面質量値との比較ができます。

「操作手順書」の参照先⇒ P.22, 29

一般社団法人 日本自動車部品工業会（JAPIA）公式サイト

http://www.japia.or.jp ⇒「JAMA/JAPIA 統一データシート」を選択

重要！

注意！

① 構成材料名称や材料規格・材料コード・材料記号は、「選択」ボタンをクリックして検索した結果を入力してください。

② 検索時、日本語は全角として、英数を使用する場合は必ず「英数半角」モードで検索を実施してください。

③ 公的規格のない材料で調査依頼元が必要な材料もリストに入っており、「JAMA**」（*「JAMAH4444」のような「JAMA」で始まる材料規格は、該当する公的規格がない場合のみ、使用願います*）のように記述されております。それでも入力できない場合は調査依頼元へご相談ください。**

（４）各材料で使用している化合物情報の入力（成分データ）

次に各材料で使用している化合物情報を入力していきます。前述のように、ここで重要な点は、「入力行数を決定するのは、化合物数」であるということです。

項目番号	入力項目	入力義務
20	含有数整理番号	**必須** （化合物を入力する場合、ただし化合物コードが system の場合はブランク）
23	プロセスケミカルの存在形態	**必須** （化合物がプロセスケミカルで含有率が 0.1% を超える場合）
24	化合物コード	**必須** （化合物を入力する場合）
25	化合物名称	**必須** （化合物を入力する場合）
26	化合物含有率	**必須** （化合物を入力する場合）

「SPCC」の場合、含有成分（化合物）は、JIS や MILL シート等の情報を使用し、一例として以下の情報を入力することも可能です。

含有成分（化合物名称）	化合物含有率（%）
鉄	残部
カーボン	0.15
マンガン	0.6
リン	0.1
イオウ	0.05
合計	100.0

検査データなど公差のないデータは「化合物含有率」へ入力します。公差のあるデータは部工会オプションの「化合物含有率（最小値）」「化合物含有率（最大値）」「化合物含有率（残部）」を使用してください。エラーチェック時に「化合物含有率」へ自動入力されるためです。

注意！

ＶＤＡ材料分類 5.x、6.x の材料に限り、1 物質でその含有率が 100%（固定値）、または 1（残部）とした場合、エラーチェックにて「警告」が表示されます。樹脂・ゴム類の添加物記載漏れを防ぐ目的で追加された機能です。修正が必要であるかどうか判断する必要があります。

今回の事例の場合、現時点で、自動入力機能により「PP－GF35」の材料を除き、全材料のデータが自動入力されております。

17	18	19	20	23	24	25	26
			化合物				
材料コード（金属 ・ その他）	材料記号（樹脂・ゴム）	VDA材料分類コード	含有数整理番号	プロセスケミカルの存在形態 選択	化合物コード 選択	化合物名称	化合物含有率
JAMAHCRF-TR-ZNPL B		7.3	3		7732-18-5	Water	10
JAMAHCRF-TR-ZNPL B		7.3	4		59178-46-0	Dichromium tris(hydrogen phosph	53
JAMAHCRF-TR-ZNPL B		7.3	5		20427-58-1	Zinc-hydroxide	20
JAMAHCRF-TR-ZNPL B		7.3			system	Misc., not to declare	1
	PP-GF35	5.1.a					
SPCC		1.1.1	1		7440-44-0	Carbon	0.075
SPCC		1.1.1	2		7439-96-5	Manganese	0.30

説明の簡素化のために、化合物は以下の成分とします。

含有成分（化合物名称）	化合物含有率（%）
PP	60
ガラス繊維	35
その他	5
合計	100

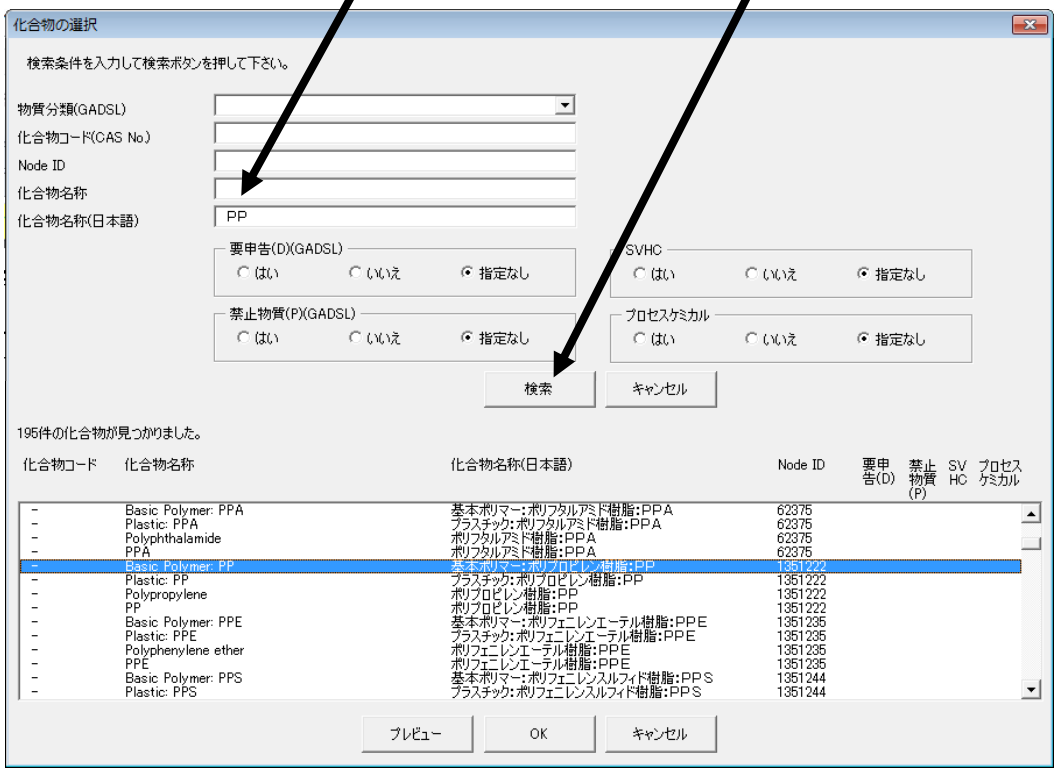
3 成分入力のために PP-GF35 の行を複写し、3 行とします。

17	18	19	20	23	24	25	26
			化合物				
材料コード（金属 ・ その他）	材料記号（樹脂・ゴム）	VDA材料分類コード	含有数整理番号	プロセスケミカルの存在形態 選択	化合物コード 選択	化合物名称	化合物含有率
JAMAHCRF-TR-ZNPL B		7.3	3		7732-18-5	Water	10
JAMAHCRF-TR-ZNPL B		7.3	4		59178-46-0	Dichromium tris(hydrogen phosp	53
JAMAHCRF-TR-ZNPL B		7.3	5		20427-58-1	Zinc-hydroxide	20
JAMAHCRF-TR-ZNPL B		7.3			system	Misc., not to declare	1
	PP-GF35	5.1.a	1				
	PP-GF35	5.1.a	2				
	PP-GF35	5.1.a	3				
SPCC		1.1.1	1		7440-44-0	Carbon	0.075
SPCC		1.1.1	2		7439-96-5	Manganese	0.30

PP や GF を入力するため、「化合物コード」のセルを選択し、「選択」ボタンをクリックします。

17	18	19	20	23	24	25
			化合物			
材料コード（金属 ・ その他）	材料記号（樹脂・ゴム）	VDA材料分類コード	含有数整理番号	プロセスケミカルの存在形態 選択	化合物コード 選択	化合物名称
JAMAHCRF-TR-ZNPL B		7.3	3		7732-18-5	Water
JAMAHCRF-TR-ZNPL B		7.3	4		59178-46-0	Dichromium tris(hydroge
JAMAHCRF-TR-ZNPL B		7.3	5		20427-58-1	Zinc-hydroxide
JAMAHCRF-TR-ZNPL B		7.3			system	Misc., not to declare
	PP-GF35	5.1.a	1			
	PP-GF35	5.1.a	2			
	PP-GF35	5.1.a	3			
SPCC		1.1.1	1		7440-44-0	Carbon

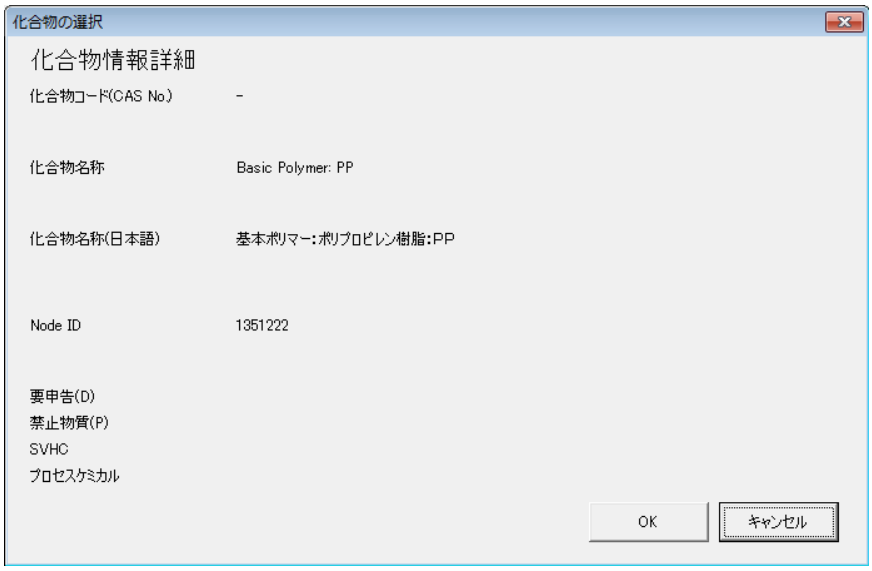
化合物名称（日本語）に「ＰＰ」（全角文字）と入力し、「検索」ボタンをクリックすると以下の画面となります。



参考：化合物コード（CAS）が同じなら Node ID も同じで同一化合物です。化合物コード（CAS）のない化合物で Node ID が同じ場合も同一化合物です。

「プレビュー」ボタンをクリックすると、検索結果画面で選択している材料の詳細を確認することができます。

検索結果画面では表示文字数の制限から化合物名称等の文字列がすべて表示できません。表示されていない文字列をプレビュー画面で表示し詳細を確認して化合物を選択することが可能です。

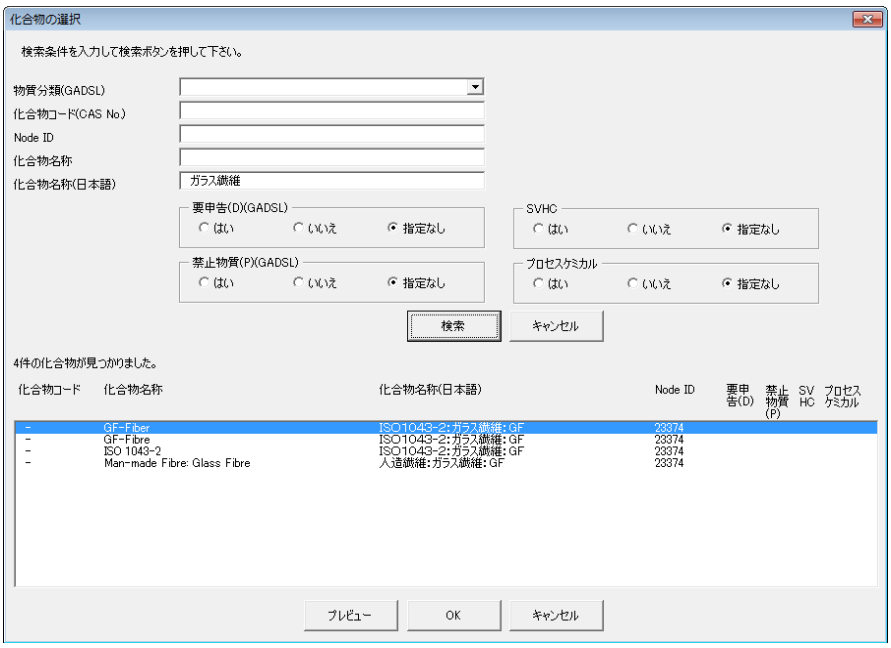


「化合物の選択（プレビュー）」画面の「OK」ボタンをクリックすると入力帳票に値が反映されます。

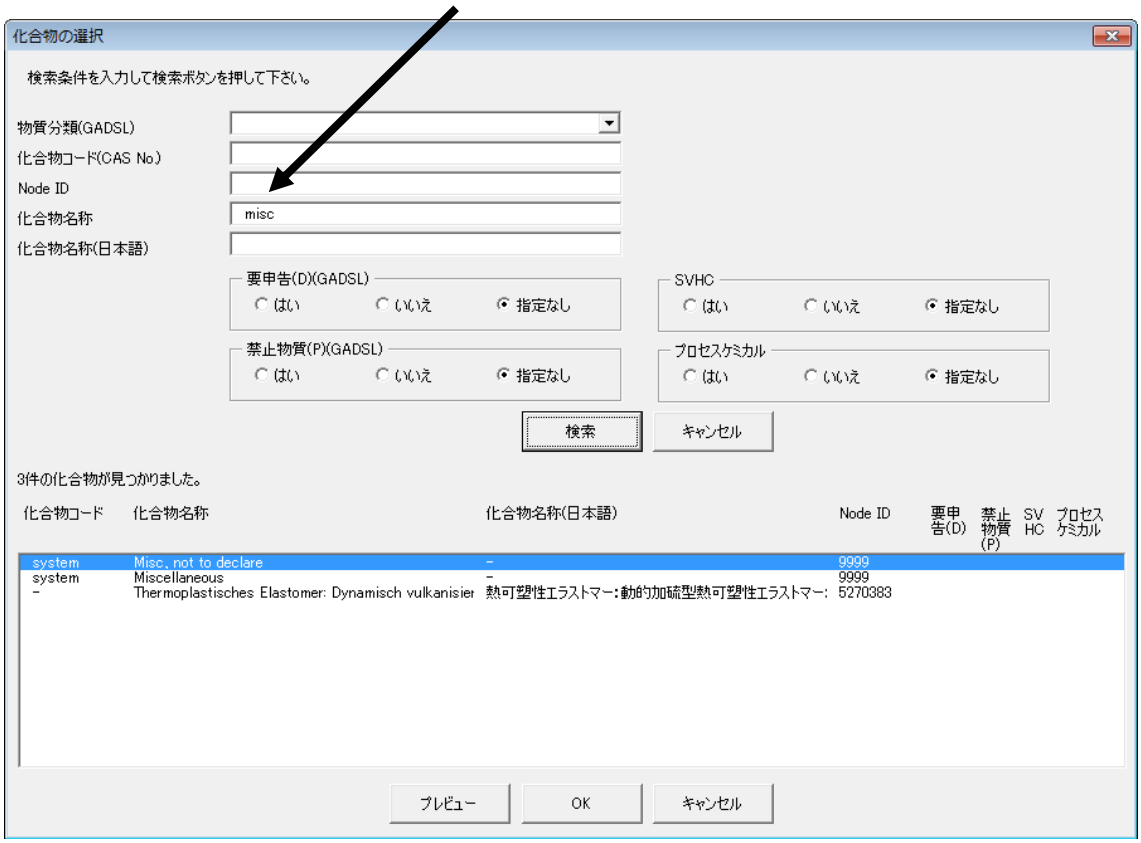
※「化合物の選択」画面で検索結果を選択し「OK」ボタンをクリックしたのと同様の動作です。

「化合物の選択（プレビュー）」画面の「キャンセル」ボタンをクリックすると「化合物の選択」画面の検索結果に戻ります。他の検索結果を選択し再度プレビューすることが可能です。

ガラス繊維の検索も同様に以下のように実施します。



「その他」成分は化合物名称に「misc」（半角）と入力します。



続けて「化合物含有率」を入力します。

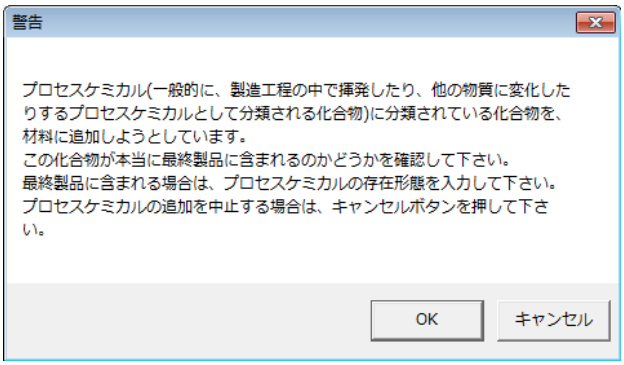
3 つの化合物データを入力した結果を以下に示します。

20	23	24	25	26
化合物				
含有数整理番号	プロセスケミカルの存在形態 選択	化合物コード 選択	化合物名称	化合物含有率
		system	Misc., not to declare	1
1		–	Basic Polymer: PP	60
2		–	GF-Fiber	35
		system	Misc., not to declare	5
1		7440-44-0	Carbon	0.075

次に、この入力モデルにはありませんが、「プロセスケミカルの存在形態」を解説します。製品含有化学物質報告では最終製品に含まれる化合物のみを入力しなければなりません。

したがって、製造過程で使用されるプロセスケミカルは入力されるべきではなく、システムがこれを確認します。

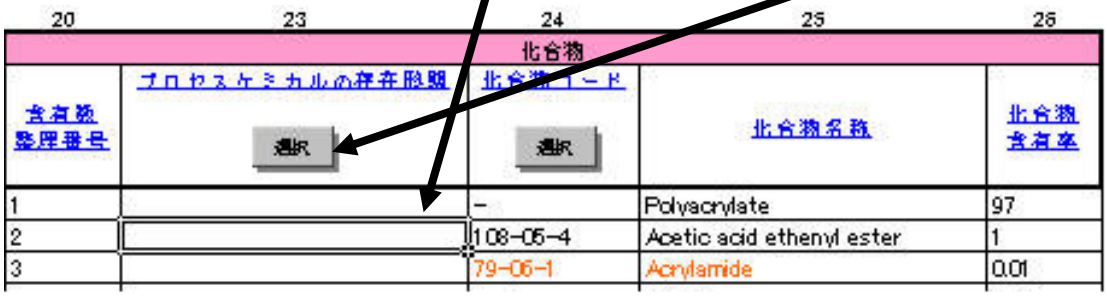
材料にプロセスケミカルを追加する際、ポップアップ画面で警告画面が表示されます。



この画面で「OK」ボタンをクリックすると入力帳票にプロセスケミカルが入力され、「キャンセル」ボタンをクリックすると入力されず、検索結果画面に戻ります。

さらに、プロセスケミカルの化合物含有率が０.１%より多い場合は、「プロセスケミカルの存在形態」に正しい値（1～3）が記入されていなければなりません。

該当するプロセスケミカルの行の「プロセスケミカルの存在形態」を選択し「選択」ボタンをクリックします。



プロセスケミカルの存在形態の選択画面が表示されます。

適切な存在形態を選択し「OK」ボタンをクリックすると入力帳票にコードが入力されます。

コード	存在形態（日本語）	存在形態（英語）
1	意図的使用	Intended use
2	反応残留物	Reaction residue
3	不純物	Impurity

20	23	24	25	26
化合物				
含有物整理番号	プロセスケミカルの存在形態 選択	化合物コード 選択	化合物名称	化合物含有率
1		–	Polyacrylate	97
2	1	108-05-4	Acetic acid ethenyl ester	1
3		79-06-1	Acrylamide	0.01

参考：プロセスケミカルの化合物含有率が 0.1%以下の場合は、「プロセスケミカルの存在形態」に記入がなくても後述のエラーチェックにてエラーになりません。
プロセスケミカルの化合物の含有率に関わらず「プロセスケミカルの存在形態」の入力値が 1, 2, 3 でない場合、後述のエラーチェックにてエラーが発生します。

注意！

① 含有物質情報は、調査依頼元指示に従い、入力をお願いします。「その他」の上限値は国際的なデータ収集システムである IMDS の推奨に基づいており、10% を超える場合エラーチェックで警告（調査依頼元とご相談願います）となります。

② 調査対象物質は、「JAMA 製品含有化学物質リスト」にある申告物質です。申告物質は「P」（禁止）と「D」（申告）、「D/P」の 3 種類に分類されています。この「JAMA 製品含有化学物質リスト」も適時更新されていますので、最新の「JAMA 製品含有化学物質リスト」をご確認ください。「JAMA 製品含有化学物質リスト」は現在世界の自動車メーカーも参加している国際的な GADSL と同じです。GADSL は IMDS でも採用されております。

③ 「D」（申告）や「P」（禁止）は IMDS への登録時のタイムラグ等で「JAMA 製品含有化学物質リスト」と一致していない場合があります。「D/P」は環境規制により、物質種類・用途または含有率により「P」または「D」となります。BPR の場合は、殺生物目的のみ対象となります。

④ 「JAMA 製品含有化学物質リスト」の物質の報告する含有率の下限値（閾値）は通常 0.1% ですが、カドミウムのような物質は 0.01% です。詳細は GADSL を確認願います。

⑤ SVHC のフラグが付く物質は、基本的には Candidate List（認可対象候補物質リスト）に記載された物質とします。

参考：「JAMA 製品含有化学物質リストについて」の入手先

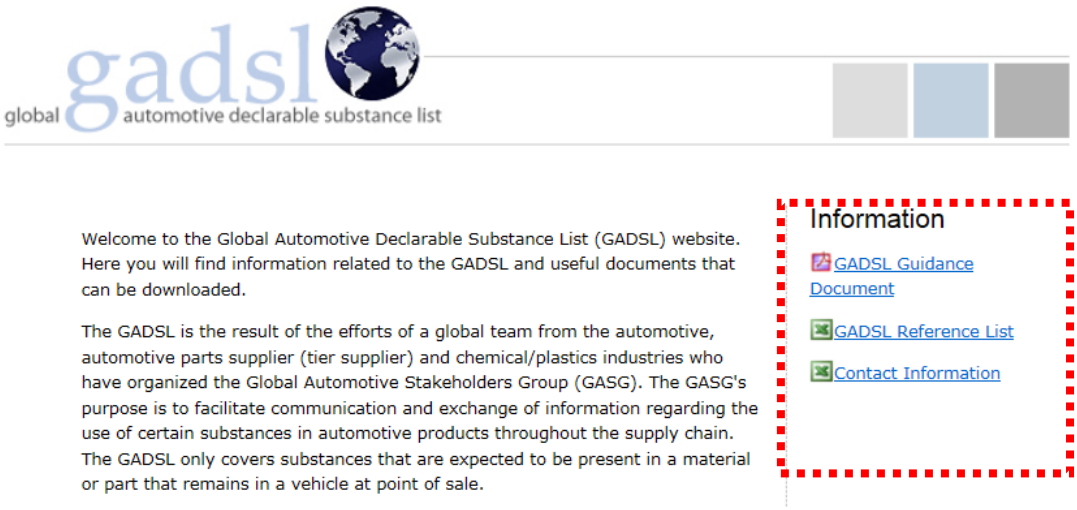
一般社団法人 日本自動車部品工業会（JAPIA）公式サイト

http://www.japia.or.jp　　⇒「JAMA/JAPIA 統一データシート」を選択

「GADSL」の入手先

GADSL（Global Automotive Declarable Substance List）公式サイト

http://www.gadsl.org/



参考：JAMA 製品含有化学物質リストは環境規制の改正により変更される場合がありますので、最新の情報をご確認願います。また GADSL は随時更新されます。更新に応じて JAMA 製品含有化学物質リストも更新されます。

（５）材料・化合物でリサイクル情報や法規適合情報の入力

金属・樹脂・ゴム材料（VDA 材料分類コードが 1.x ～ 5.x）、有機天然材料（7.1）、およびセラミック／ガラス（7.2）は、「リサイクル」（項目番号 28～31）情報の入力が必須になります。先頭行に入力していきます。各項目の定義については、記入帳票の「入力要領」シートを参照願います。

35% GF 強化 PP　リサイクル情報入力結果

24	25	26	28	29	30	31
化合物			リサイクル			
化合物コード 選択	化合物名称	化合物含有率	再生材使用率（工程内リサイクル材）最小値	再生材使用率（工程内リサイクル材）最大値	再生材使用率（市場回収材）最小値	再生材使用率（市場回収材）最大値
system	Misc, not to declare	1				
-	Basic Polymer: PP	60	0	0	0	0
-	GF-Fiber	35				
system	Misc, not to declare	5				
7440-44-0	Carbon	0.075				

注意！

材質表示は欧州廃車指令により、樹脂は「100g」、ゴムは「200g」を超える場合、「材質表示：項目番号 32」が必要です。材料質量とセットでエラーチェックしますので、必須入力です。

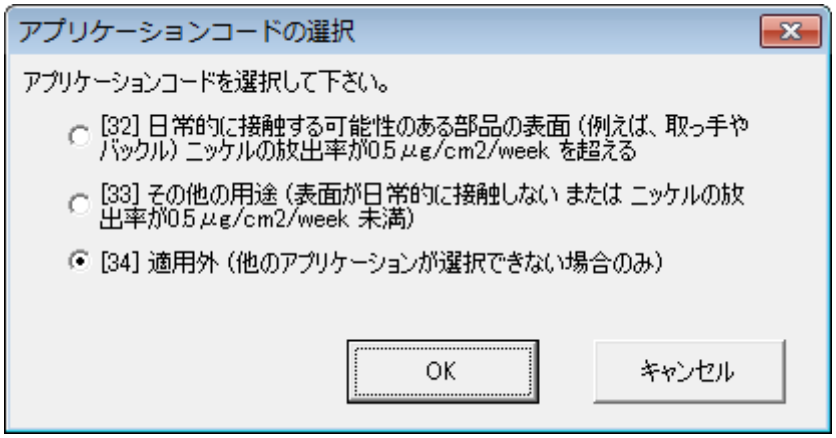
今回の SPCC はスクラップリサイクルされていないものとしてリサイクル情報は全て「 0% 」と入力します。

24	25	26	28	29	30	31
			リサイクル			
化合物コード 選択	化合物名称	化合物含有率	再生材使用率（工程内リサイクル材）最小値	再生材使用率（工程内リサイクル材）最大値	再生材使用率（市場回収材）最小値	再生材使用率（市場回収材）最大値
7440-44-0	Carbon	0.075	0	0	0	0
7439-96-5	Manganese	0.5				
7723-14-0	Phosphorus	0.050				
7704-34-9	Sulphur	0.0175				
7439-89-6	Iron	99.3575				
7440-44-0	Carbon	0.25	0	0	0	0
7440-21-3	Silicon	0.25				

続いて「アプリケーションコード」の入力が必要な化合物について入力を行います。

24	25	26	28	29	30	31	32	34
			リサイクル					
化合物コード 選択	化合物名称	化合物含有率	再生材使用率（工程内リサイクル材）最小値	再生材使用率（工程内リサイクル材）最大値	再生材使用率（市場回収材）最小値	再生材使用率（市場回収材）最大値	材質表示	アプリケーション 選択
7704-34-9	Sulphur	0.0175						
7440-47-3	Chromium	0.1						
7440-50-8	Copper	0.15						
7440-02-0	Nickel	0.1						
7439-89-6	Iron	98.6675						
7440-44-0	Carbon	0.045	0	0	0	0		
7440-21-3	Silicon	0.015						

入力が必要な化合物のセルをクリックし、「選択」ボタンをクリックしますと以下の画面が出ます。今回は「[34] 適用外」を選択します。



選択した結果、「34」が自動入力されます。

24	25	26	28	29	30	31	32	34
			リサイクル					
化合物コード 選択	化合物名称	化合物含有率	再生材使用率（工程内リサイクル材）最小値	再生材使用率（工程内リサイクル材）最大値	再生材使用率（市場回収材）最小値	再生材使用率（市場回収材）最大値	材質表示	アプリケーション 選択
7704-34-9	Sulphur	0.0175						
7440-47-3	Chromium	0.1						
7440-50-8	Copper	0.15						
7440-02-0	Nickel	0.1						34
7439-89-6	Iron	98.6675						
7440-44-0	Carbon	0.045	0	0	0	0		
7440-21-3	Silicon	0.015						

参考：アプリケーションコードの入手先

解説は、IMDS 公式サイトの「FAQ(よくあるご質問集)」の「データシート構成情報画面」の「正しいアプリケーションコードを決定する方法を詳しく説明した資料はありますか？」に記載されています。アプリケーションコードの日本語訳は「FAQ(よくあるご質問集)－ その他」の下方に記載されています。

https://public.mdsystem.com/ja/web/imds-public-pages/faq

アプリケーションコードの日本語訳はありますか？

こちらからアプリケーションコードの日本語参考訳をダウンロードできます。
(ドキュメントが2018年12月5日に更新されました)

アプリケーションID選択肢英日対照表v6.2(PDF形式)

注意！

①「アプリケーションコード」は欧州廃車指令適用除外リスト（EU-ELV ANNEXⅡ）に対応したコードを使用しています。欧州廃車指令が改訂される度にコードが変更になるので欧州廃車指令改訂に追従した最新の JAMA シートを使用することが必要です。

②「アプリケーションコード」入力が必要な化合物は、欧州廃車指令規制物質の鉛・カドミウム・水銀・6 価クロムとニッケル・PAH（多環芳香族炭化水素）です。

入力した化合物が BPR（欧州殺生物性製品規則）の対象物質（活性物質）である場合、35 列目の「殺生物目的」に、“N（殺生物目的で使用しない）”またはプロダクトタイプのいずれかを入力します。

32	34	35	40	41	42
材質表示	アプリケーション 選択	殺生物目的 一括入力 選択	構成部品数量単位 選択	調査元材料記号もしくは支給材コード	化合物含有率（最小値）
・部品に「材質マーク」を表示していることを示すコード	・IMDSで定められている有害物質を使用している場合の使用目的コード	・欧州殺生物性製品規則における殺生物目的有無とプロダクトタイプを示すコード	・構成部品数の単位	・調査元が図面・材料仕様書等にて指示している材料記号	・化合物含有率の最小値
調査先	調査先	調査先	調査先	調査元または調査先	調査先

参考：

・BPR の対象物質は「活性物質」と呼ばれる化合物で、GADSL の「Biocidal coatings / biocidal additives, selected」に収載されています。

・プロダクトタイプとは、「活性物質」の利用用途による分類で、現在、自動車用途として考えられている「プロダクトタイプ」は次の 3 つです。

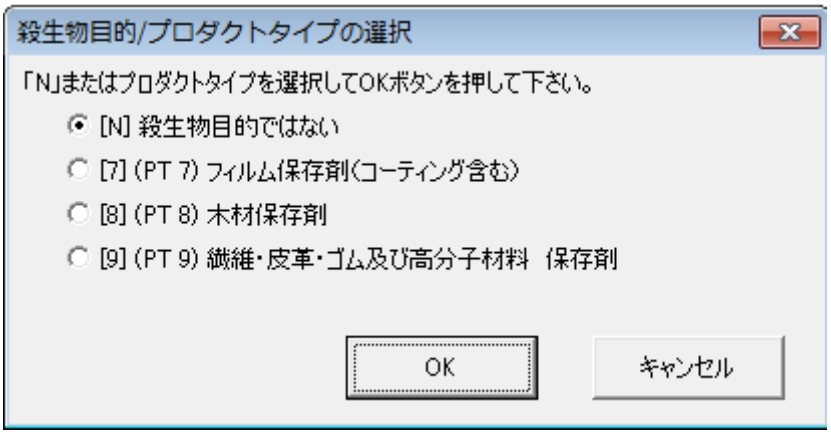
7：フィルム保存剤（コーティング含む）

8：木材保存剤

9：繊維・皮革・ゴム及び高分子材料　保存剤

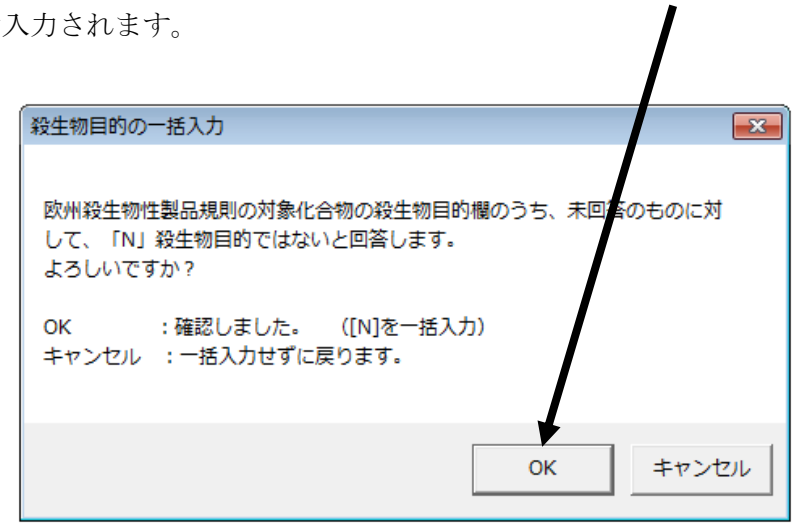
「殺生物目的」を入力するセルにカーソルを合わせて「選択」ボタンを押すと、次の画面が表示されますので、“N”またはプロダクトタイプを選択します。セルの位置が正しくない場合や、その行の化合物が「活性物質」でない場合は、警告のメッセージが表示されます。

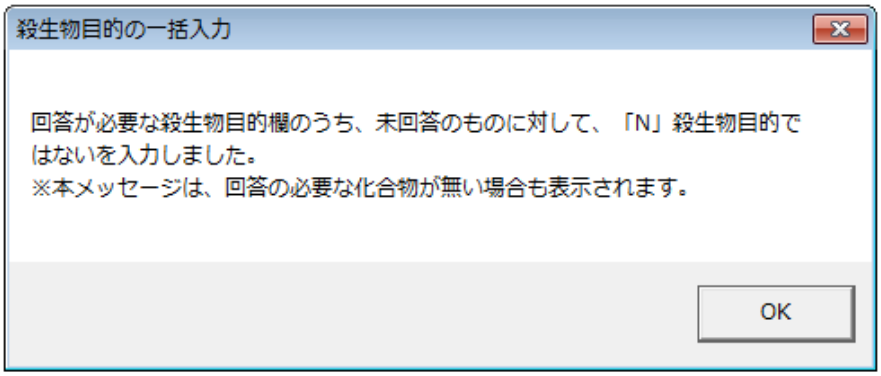
「殺生物目的」が“N”, “7”, “8”, “9”以外の場合、JAMA シートの「エラーチェック」でエラーとなります。



運用においては、「活性物質」であっても“N”であるケースが多いことから、JAMA シートでは、35 列目の「殺生物目的」が空白であるすべての「活性物質」に対し、“N”を一括入力することが可能です。

「一括入力」ボタンを押すと次の画面が表示されます。ここで「OK」ボタンを押すと、“N”が自動入力されます。

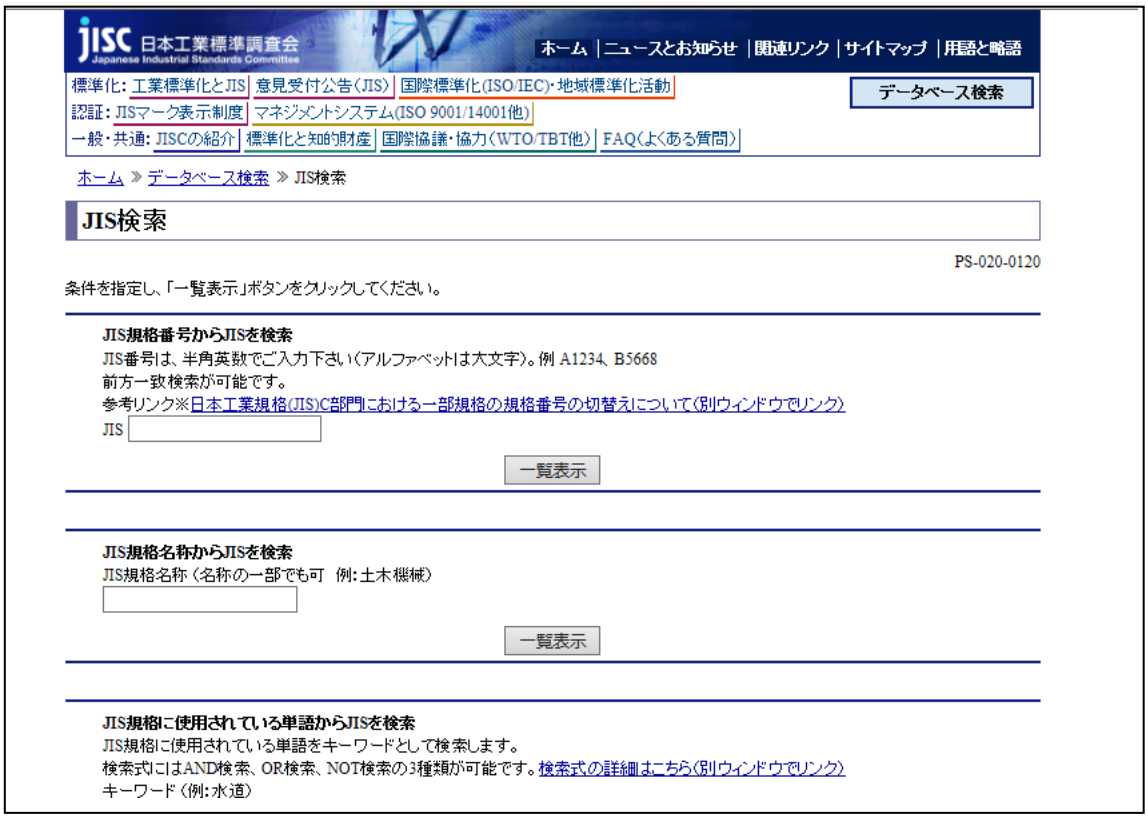




その他参考資料

参考：JIS 検索は日本工業標準調査会の公式サイトで可能です。

http://www.jisc.go.jp/app/jis/general/GnrJISSearch.html



この JIS 検索では、パソコンの画面で JIS を読むことができますが、印刷はできません。また含有率は、「上限」「公差」「上限～下限」のようなスペックになっており、調査依頼元の指示に従ってください。（部工会オプション列にて、化合物含有率最小値と最大値の入力欄を用意しております）

注意！　JIS で規定している成分元素は必ずしも「JAMA 製品含有化学物質リスト」を網羅しておりません。調査依頼元と相談して、報告対象を決定してください。
例：黄銅（例：C3604 ）のカドミウムは JIS で濃度を規定しておりません。

参考：部工会オプション欄（項目番号 42～44）を自動入力しないで自社データを入力する場合のエラーチェックについて

部工会オプション欄に公差データを入れ、化合物含有率（項目番号 26）へ自動入力することができますが、エラーチェックにて「システムにて自動書き込みしました」というメッセージが出ます。再度エラーチェックすると、このエラーが消えますので、そのまま続行願います。

参考：IMDS7.0 の公差エラーチェック内容（IMDS001*より）

化合物含有率 最大＝Y%　最小＝X%	許容公差範囲 M＝Y%－X%
0 ≦ X ≦ 7.5	M ≦ 3
7.5 ＜ X ≦ 20	M ≦ 5
20 ＜ X ≦ 100	M ≦ 10

IMDS001*　：レコメンデーション IMDS001

参考：ワイルドカード化合物の解説

IMDS 公式サイトの「FAQ(よくあるご質問集)」の「データシート構成情報画面」の「情報の機密性、および機密扱い物質に関連する説明はありますか？」に記載されています。

https://public.mdsystem.com/ja/web/imds-public-pages/faq

情報の機密性、および機密扱い物質に関連する説明はありますか？

化学物質は最終製品に含まれる形で報告する必要があります。例えば、ABSのような樹脂材料を使用する場合、ABSを製造している過程で含まれる化学物質は報告しません。システムではABSの擬似物質が用意されています。しかし、顔料、難燃剤、充填材は報告する必要があります。「検索」メニュー>「化学物質」の画面で、「化学物質グループ」を指定すると、各化学物質グループに含まれる個々の化学物質を選択できます。擬似物質を使用することで、企業固有の調剤の入力について検討する必要がなくなります。同様に、塗料や接着剤に含まれる、「硬化(cured)」する成分は報告しなければなりません。

次は機密扱い化学物質に関する説明です。技術的には、高機密物質としてジョーカー/ワイルドカードを使用することができます。しかし、要申告、禁止、アプリケーションコードの入力が必要な化学物質(Application Relevant Substance)に対してジョーカー/ワイルドカードを使用することはできません。さらに、GADSLが変更される度に過去の履歴からワイルドカードが使用されている化学物質を検索し、これらが要申告、禁止、アプリケーションコードが必要な化学物質でないことを証明しなければなりません。これには多くの作業時間を要します。

以上でデータ入力が完了しました。最後に「基本情報（調査依頼元情報）」を確認します。

(1) 基本情報調査

項目名称	カーメーカーコード	仕入先コード	仕入先名	回答期限	回答日
データ型	半角英数字	半角英数字	半角英数字	YYYY/MM/DD	YYYY/MM/DD
記入者	調査元	調査元	調査元	調査元	調査先
	M111	S222	XXX corporation	20yy/mm/dd	20yy/mm/dd

４）エラーチェック

注意！

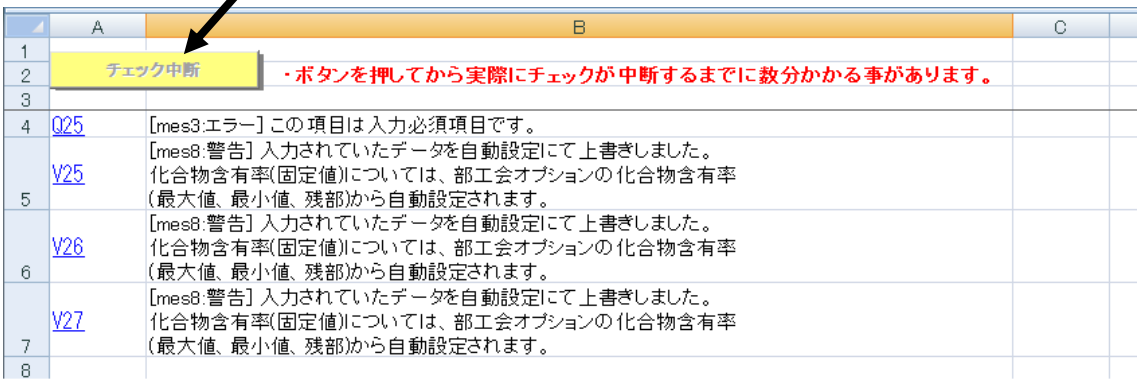
「エラーチェック」を実行しますと、登録情報の整合性チェック機能により、入力されていたデータを自動設定にて上書きすることがあります。そのため、作業者の判断により、バックアップを取ってから「エラーチェック」を実行してください。これはエラー内容を修正した後の「エラーチェック」の実行でも同じです。

「入力データのチェック」ボタンをクリックすると、「MESSAGE」シートにチェック結果が表示されます。

「MESSAGE」シート上部の「チェック中断」ボタンをクリックすることにより、エラーチェックを中断することができます。表示されたエラー結果を先行して修正したい時などにクリックします。

ただしクリックしたタイミングによっては、処理が中断するまでに数分かかる場合があります。

〔MESSAGE シートの画面〕



「 A 」列のコードをクリックするとエラー発生場所へリンクできるようになっています。ここで修正しなければならないのが、「エラー」です。「エラー」のレベル（表示色）についての詳細は「操作手順書」を参照してください。

参考：「操作手順書」の参照先⇒ P.73－75

一般社団法人 日本自動車部品工業会（JAPIA）公式サイト

http://www.japia.or.jp ⇒「JAMA/JAPIA 統一データシート」を選択

エラーを修正後、保存し、再度「入力データのチェック」をクリックします。

エラーがなくなると「エラーはありません」というメッセージが出ます。

参考： Ver.3.00 では、IMDS と JAMA シートのデータの互換性を向上させるため、材料表記のルールを更新しました。

初回のエラーチェックでは、Ver.2.51 以前に作成された JAMA シートのデータ情報を再利用できるようにするために、「構成材料名称」「材料規格」「材料コード」「材料記号」の値を新たな表記ルールに従って自動変換します。変換されると、セルの背景色は灰色になります。

「初回のエラーチェック」とは、記入帳票立ち上げ後、CSV ファイル取り込み後、または一括クリア実行後の最初のエラーチェックです。

注意！

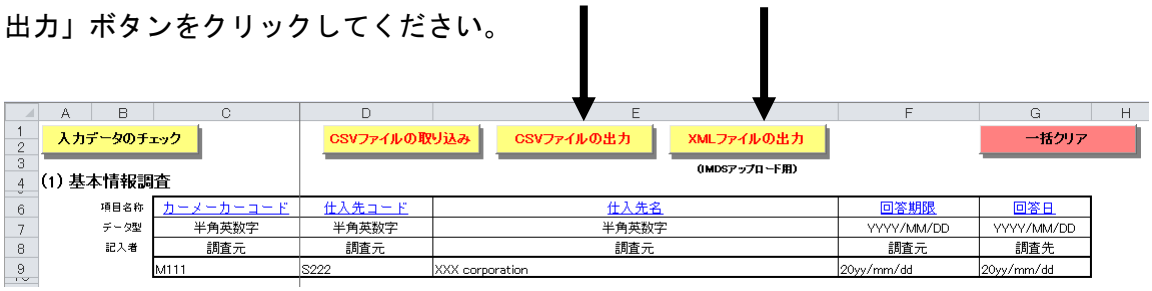
- **データが大きい場合やパソコンの機種によっては、エラーチェックが終了するまでに時間がかかる場合があります。**
- **JAMA シート（旧バージョン）で作成したデータ（エラーなし）を新バージョンに使用するとエラー・警告が出る場合があります。JIS 改訂などで外部リストが変更された場合などによるものです。**

５）データ出力

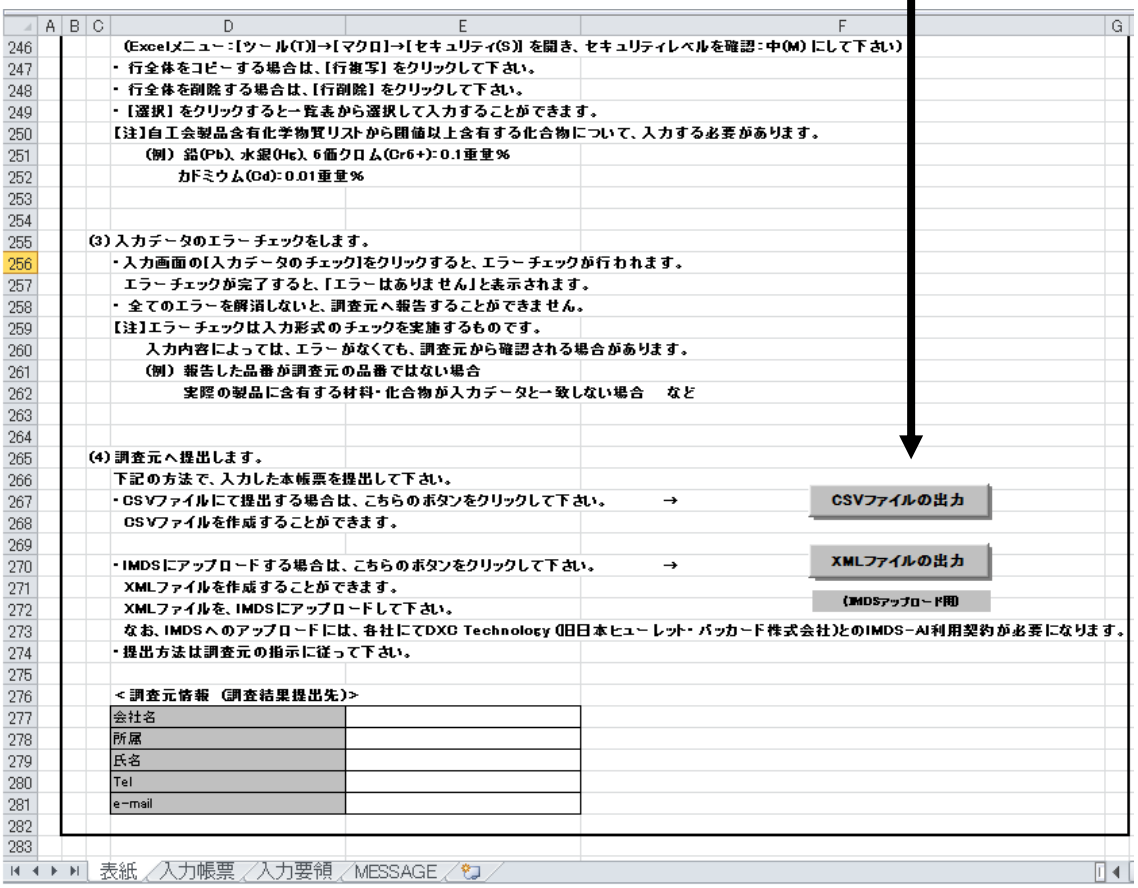
調査依頼元の指示に従い、データを出力します。

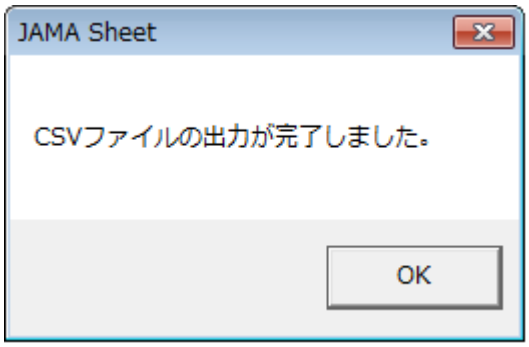
なお、データシートの容量が 1MB を超えるような大きいデータをメールに添付すると、メール受信できない調査依頼元があります。

CSV ファイルへの変換は JAMA シートの入力帳票の上部にあります「CSV ファイルの出力」ボタンをクリックしてください。



表紙にある「CSV ファイルの出力」ボタンおよび「XML ファイルの出力」ボタンも同様の動作をします。





CSV ファイルにより、データ容量が数 kB に減少いたします。

データシートを圧縮する場合は、圧縮したデータの拡張子を変更願います。多くの調査依頼元のウイルスチェックシステムでは、そのまま送信できない拡張子（例：ZIP）になるため、調査依頼元と相談し、拡張子を変更願います（例：ZIP→ZI_）

参考：CSV ファイル

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
C	Ver.2.xx	20yy/mm/	正常終了		EXLIST-20yy-mm-ddJP.xlsx						
H	M111	S222	XXX corporatio	20yy/mm/	20yy/mm/dd						
D	1	2.41E+09	PLATE ASSY	64	G121E0001		1				
D	2	2.41E+09	PLATE ASSY		G121E0001		2	2.41E+09	PLATE SUI	40	1
D	3	2.41E+09	PLATE ASSY		G121E0001		3	2.41E+09	PLATE	22	1
D	4	2.41E+09	PLATE ASSY		G121E0001		3	2.41E+09	PLATE		1
D	5	2.41E+09	PLATE ASSY		G121E0001		3	2.41E+09	PLATE		1
D	6	2.41E+09	PLATE ASSY		G121E0001		3	2.41E+09	PLATE		1
D	7	2.41E+09	PLATE ASSY		G121E0001		3	2.41E+09	PLATE		1
D	8	2.41E+09	PLATE ASSY		G121E0001		3	9.42E+09	NUT,WELD	4.2	4
D	9	2.41E+09	PLATE ASSY		G121E0001		3	9.42E+09	NUT,WELD		4
D	10	2.41E+09	PLATE ASSY		G121E0001		3	9.42E+09	NUT,WELD		4
D	11	2.41E+09	PLATE ASSY		G121E0001		3	9.42E+09	NUT,WELD		4
D	12	2.41E+09	PLATE ASSY		G121E0001		3	9.42E+09	NUT,WELD		4
D	13	2.41E+09	PLATE ASSY		G121E0001		3	9.42E+09	NUT,WELD		4
D	14	2.41E+09	PLATE ASSY		G121E0001		3	9.42E+09	NUT,WELD		4
D	15	2.41E+09	PLATE ASSY		G121E0001		3	9.42E+09	NUT,WELD		4
D	16	2.41E+09	PLATE ASSY		G121E0001		3	9.42E+09	NUT,WELD		4
D	17	2.41E+09	PLATE ASSY		G121E0001		3		WELDING	1	1
D	18	2.41E+09	PLATE ASSY		G121E0001		3		WELDING		1
D	19	2.41E+09	PLATE ASSY		G121E0001		3		WELDING		1
D	20	2.41E+09	PLATE ASSY		G121E0001		3		WELDING		1
D	21	2.41E+09	PLATE ASSY		G121E0001		3		WELDING		1
D	22	2.41E+09	PLATE ASSY		G121E0001		3		WELDING		1
D	23	2.41E+09	PLATE ASSY		G121E0001		3		WELDING		1
D	24	2.41E+09	PLATE ASSY		G121E0001		3		ZINC PLAT	0.18	1

５．まとめ

JAMA シートは、JAMA および JAPIA 共同で開発されたデータシートであり、化学物質規制や IMDS 改正などにより更新されています。

常に最新の情報を公式サイトで確認をお願いします。また問題が発生した場合は　、調査依頼元と相談願います。

参考：最新の JAMA シートの入手先

一般社団法人 日本自動車部品工業会（JAPIA）公式サイト

http://www.japia.or.jp　　⇒「JAMA/JAPIA 統一データシート」を選択

＜補足１＞

簡易入力マニュアル上で、
記入帳票は「jamasheet_jp20yymmdd」
外部リストは「EXLIST-20yy-mm-ddJP」と表現していますが
マニュアル発行時点でのファイル名は、下記の通りです。

マニュアルの Version	記入帳票のファイル名	外部リストのファイル名
3.01	jamasheet_jp20190601	EXLIST-2019-06-01JP

注意！

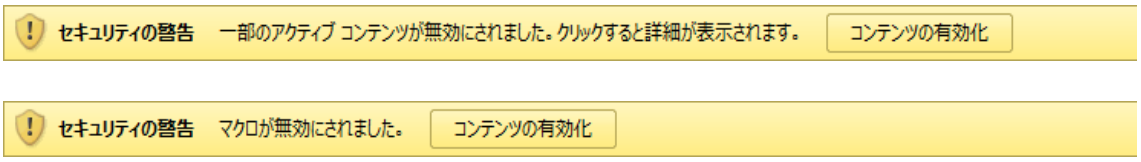
JAMA シート（記入帳票）には、動作期限が設定してあります。使用期限を過ぎると、外部リストへのアクセスができなくなるため、選択入力や、エラーチェックが機能しませんのでご注意下さい。ただし記入帳票を開くことは可能です。

近年のバージョンの動作期限は、下記の通りです。

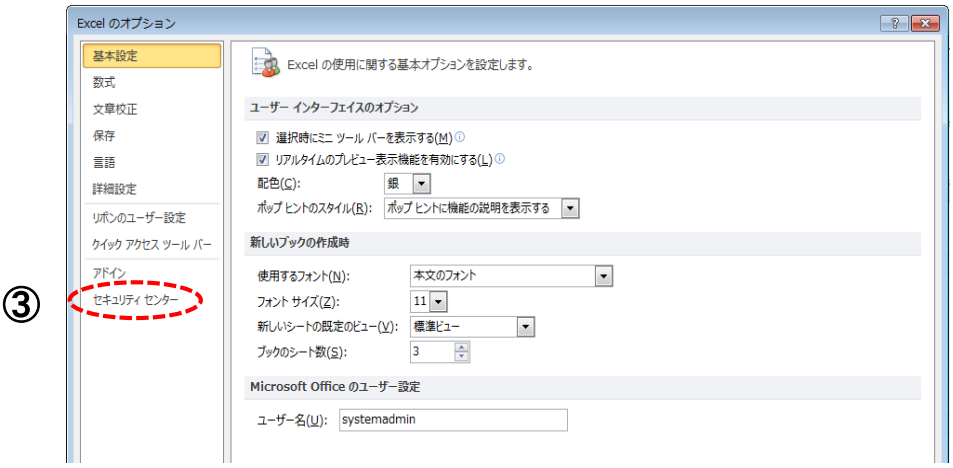
Version	動作期限
3.01	2020 年 1 月 31 日まで
3.00	2019 年 9 月 30 日まで
2.51	期限切れ
2.50	期限切れ

＜補足２＞

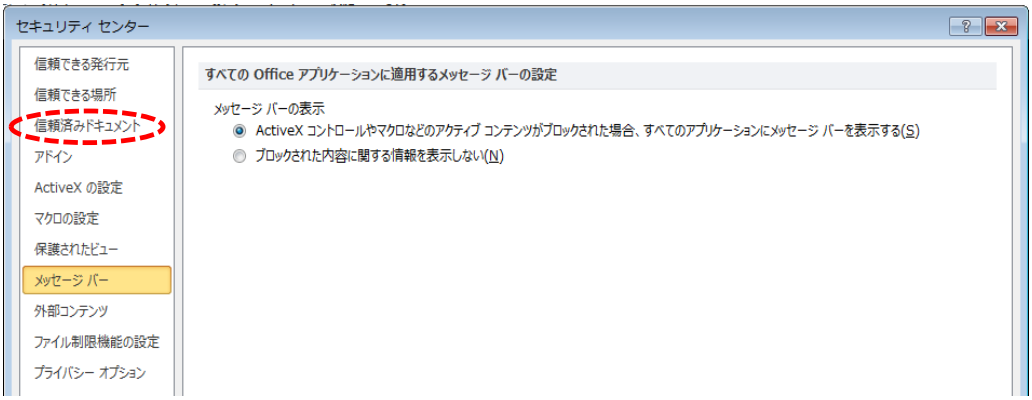
JAMA シートを起動しパスワードを入力したあと、Excel マクロの動作に関わる次の「メッセージバー」が表示されない場合には、以下の方法で Excel を適切な設定にすることをお勧めします。　（説明の画面は Excel2010 です。）

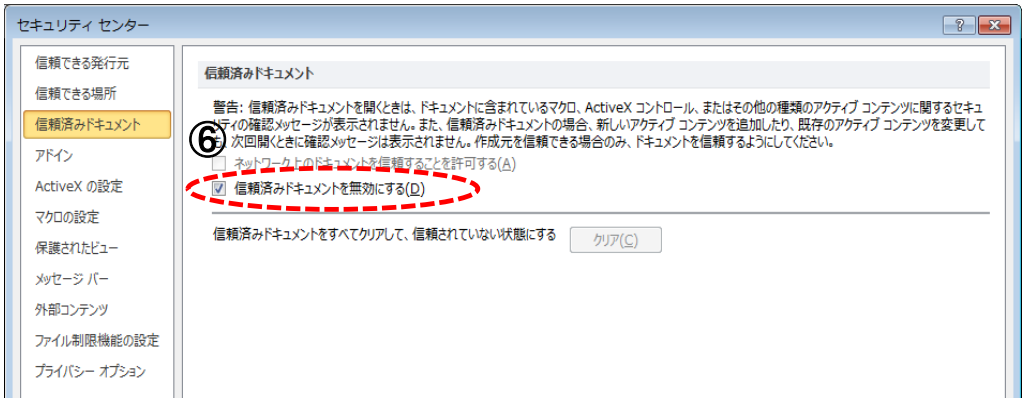


（１）初めに「信頼済みドキュメントを無効にする」 の設定をします。
（画面の順に作業して下さい。）



⑤





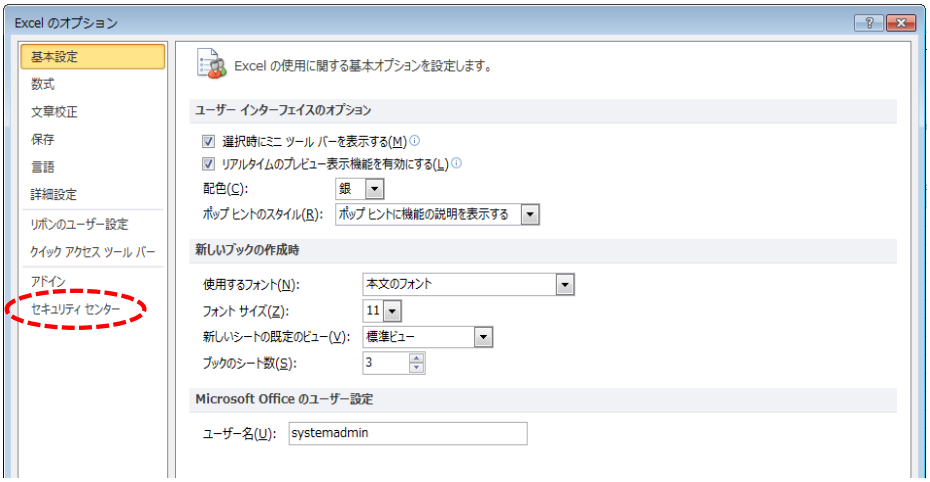
「OK」ボタンをクリックして画面を閉じます。

（２）続いて「警告を表示してすべてのマクロを無効にする」 の設定をします。

①

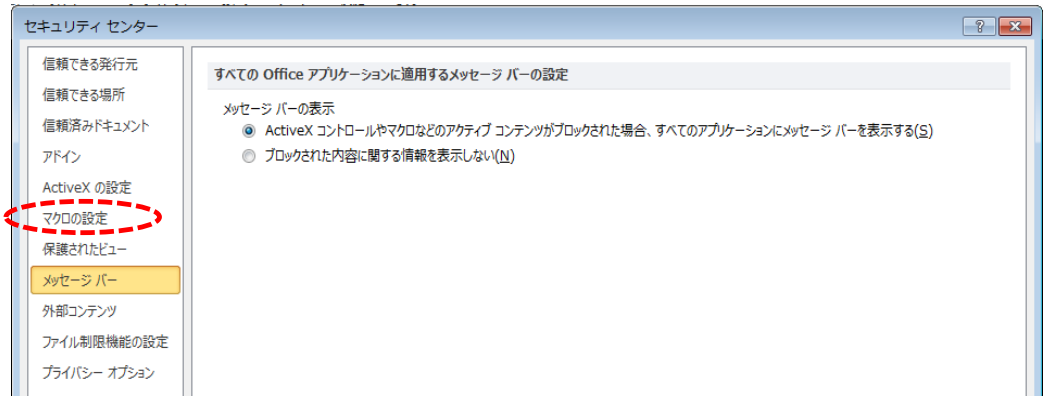
②

③

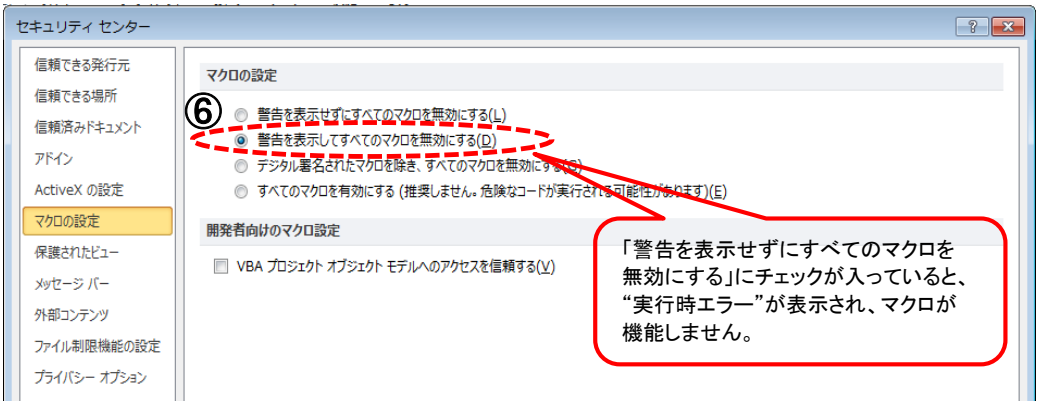


④

⑤



⑥



「OK」ボタンをクリックして画面を閉じて下さい。これで終了です。

―END―